

注3

大学番号：私立065

[令和2年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

届出

和洋女子大学 国際学部

注2

【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 和洋学園

令和2年5月1日現在

目次

国際学部

<英語コミュニケーション学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	27
7. その他全般的事項	28

<国際学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	33
2. 授業科目の概要	37
3. 施設・設備の整備状況、経費	42
4. 既設大学等の状況	43
5. 教員組織の状況	44
6. 附帯事項等に対する履行状況等	56
7. その他全般的事項	57

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 和洋学園

(2) 大学名

和洋女子大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒272-8533

千葉県市川市国府台2-3-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ナガサカ ケンジロウ) 長坂 健二郎 (平成27年5月)		
学長	(キンダ コウジ) 岸田 宏司 (平成24年4月)		
学部長	(サトマサ メイゴ) 里正 明伍 (令和2年4月)		
学科長等	(コウチャマ アリサ) 河内山 有佐 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
令和2年度に報告する内容 → (2)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
国際学部 英語コミュニケーション学科 学士（英語コミュニケーション）	文学関係	4年	60人	— 年次人	240人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	60人 (—) [—]	—人	人	人	人	人	人	人	人	人	1.08倍	—	
志願者数	404 (—) [—]	—	()	()	()	()	()	()	()	()			
受験者数	396 (—) [—]	—	()	()	()	()	()	()	()	()			
合格者数	117 (—) [—]	—	()	()	()	()	()	()	()	()			
B 入学者数	65 (—) [—]	—	()	()	()	()	()	()	()	()			
入学定員超過率 B/A	1.08												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	65 [-] (-)	— [-] (-)	[] [] ()								
2年次	/		[] [] ()								
3年次	/		/		[] [] ()						
4年次	/		/		/		[] [] ()				
計	65 [-] (-)		[] [] ()								

・ 令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	65 人	0 人	令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
合 計		0 人		人	人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{65} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<国際学部 英語コミュニケーション学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
和洋アビリティーズ科目	キャリアデザイン基礎ゼミ	1前・後	2								兼2
	パソコンの基礎と応用	1前	2			3			3		兼4
	ベーシックラーニング	1前・後	2								兼2
	小計(4科目)	—	2	6	0	3	0	0	3	0	兼8
人文学系	哲学への誘い	1前・後	2								兼1
	日本の文学	1前・後	2								兼2
	外国の文学	1後	2						1		
	ジェンダーと文学	1前	2						1		
	表現と創作	1前・後	2								兼2
	こんにちの文化	1前	2								兼1
	歴史学	1前	2								兼1
	日本の美術	1前	2								兼1
	西洋の美術	1後	2								兼1
	音楽の歴史	1後	2								兼1
	音楽の楽しみ	1前	2								兼1
	手書き文字の世界	1前・後	2								兼1
	漢字・かな文字の変遷	1前・後	2								兼2
小計(13科目)	—	0	26	0	0	0	0	1	0	兼11	
社会科学系	日本国憲法	1前・後	2								兼1
	憲法と人権	1前・後	2								兼1
	国際関係入門	1前・後	2								兼1
	経済の仕組み	1前・後	2								兼2
	社会の仕組み	1前・後	2								兼2
	20世紀の日本	1前・後	2								兼1
	家族と社会	1前・後	2								兼1
	家族と福祉	1前・後	2								兼1
小計(8科目)	—	0	16	0	0	0	0	0	0	兼8	
生活科学系	服装の科学	1前・後	2								兼1
	ファッションの文化	1前・後	2								兼1
	色彩の科学	1前	2								兼1
	健康と食生活	1前・後	2								兼2
	住まいとデザイン	1後	2								兼1
	社会福祉の展望	1後	2								兼1
	加齢と高齢者の科学	1前・後	2								兼1
	こどもと育児	1前・後	2								兼1
	化学	1前・後	2								兼1
	数理と発想	1後	2								兼1
	看護の知識	1前・後	2								兼6
小計(11科目)	—	0	22	0	0	0	0	0	0	兼15	

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
和洋アビリティーズ科目	キャリアデザイン基礎ゼミ	1前・後	2								兼1
	パソコンの基礎と応用	1前	2			3	2		1		兼4
	ベーシックラーニング	1前・後	2								兼3
	小計(4科目)	—	2	6	0	3	2	0	1	0	兼8
人文学系	哲学への誘い	1前・後	2								兼1
	日本の文学	1前・後	2								兼2
	外国の文学	1後	2				1		0		
	ジェンダーと文学	1前	2				1		0		
	表現と創作	1前・後	2								兼2
	こんにちの文化	1前	2								兼1
	歴史学	1前・後	2								兼1
	日本の美術	1前	2								兼1
	西洋の美術	1後	2								兼1
	音楽の歴史	1後	2								兼1
	音楽の楽しみ	1前	2								兼1
	手書き文字の世界	1前・後	2								兼1
	漢字・かな文字の変遷	1前・後	2								兼1
小計(13科目)	—	0	26	0	0	1	0	0	0	兼11	
社会科学系	日本国憲法	1前・後	2								兼1
	憲法と人権	1前・後	2								兼1
	国際関係入門	1前・後	2								兼1
	経済の仕組み	1前・後	2								兼1
	社会の仕組み	1前・後	2								兼1
	20世紀の日本	1前	2								兼1
	家族と社会	1前	2								兼1
	家族と福祉	1前・後	2								兼1
小計(8科目)	—	0	16	0	0	0	0	0	0	兼7	
生活科学系	服装の科学	1前・後	2								兼1
	ファッションの文化	1前・後	2								兼2
	色彩の科学	1前	2								兼1
	健康と食生活	1前・後	2								兼2
	住まいとデザイン	1後	2								兼1
	社会福祉の展望	1後	2								兼1
	加齢と高齢者の科学	1後	2								兼1
	こどもと育児	1前・後	2								兼2
	化学	1前・後	2								兼1
	数理と発想	1後	2								兼1
	看護の知識	1前・後	2								兼6
小計(11科目)	—	0	22	0	0	0	0	0	0	兼18	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教		助手
人間科学系	社会貢献と実践	1前		2							兼2
	心理の科学	1前		2							兼2
	家族とジェンダー	1前・後		2							兼1
	人間の発達	1前・後		2							兼2
	生命の科学	1前・後		2							兼1
	現代の教育	1前・後		2							兼2
	文化遺産に学ぶ	1前・後		2							兼1
	生命と医療の倫理	1後		2							兼1
	女性と美容	1前		2							兼1
	健康の科学	1前・後		2							兼4
	スポーツ実習	1前・後		1							兼4
	フィットネス実習	1後		1							兼3
小計 (12科目)	—	0	22	0	0	0	0	0	0	0	兼18
海外研修科目	海外語学研修	1前・後		2		1					
	海外文化研修	1前・後		2							兼2
	小計 (2科目)	—	0	4	0	1	0	0	0	0	兼2
外国語科目	英語a	1前	1			1	1				兼1
	英語b	1前	1			1		2			兼1
	日本語a-I	1前		1							兼1
	日本語a-II	1後		1							兼1
	日本語b-I	1前		1							兼1
	日本語b-II	1後		1							兼1
	小計 (6科目)	—	2	4	0	1	1	1	2	0	0
学部共通科目	国際セミナー	1前	1			3	1	1	3		
	国際異文化理解論	1前	2								兼1
	英語演習a	1後	1			1	1				兼1
	英語演習b	1後	1			1		2			兼1
	実践中国語 I	1後		2							兼1
	実践中国語 II	2前		2							兼1
	実践韓国語 I	1後		2							兼1
	実践韓国語 II	2前		2							兼1
	実践フランス語 I	1後		2							兼1
	実践フランス語 II	2前		2							兼1
	実践スペイン語 I	1後		2							兼1
	実践スペイン語 II	2前		2							兼1
	国際社会文化の基礎 (国際関係・交流論)	1前	2								兼1
	国際社会文化の基礎 (現代社会)	1後		2							兼1
	国際社会文化の基礎 (現代経済)	1前		2							兼1
	国際社会文化の基礎 (現代政治)	1後		2							兼1
	ことばと社会	3後		2							兼1
	ジェンダー&カルチュラルスタディーズ	3前		2					1		
	海外セミナーA	2後		12					1		
	海外セミナーB	2後・3期		24					1		
小計 (20科目)	—	7	62	0	3	1	1	3	0	0	兼11

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教		助手
人間科学系	社会貢献と実践	1前		2							兼0
	心理の科学	1前		2							兼2
	家族とジェンダー	1前・後		2							兼2
	人間の発達	1前・後		2							兼2
	生命の科学	1前・後		2							兼1
	現代の教育	1後		2							兼2
	文化遺産に学ぶ	1前・後		2							兼2
	生命と医療の倫理	1後		2							兼1
	女性と美容	1前		2							兼1
	健康の科学	1前・後		2							兼4
	スポーツ実習	1前・後		1							兼4
	フィットネス実習	1後		1							兼3
小計 (12科目)	—	0	22	0	0	0	0	0	0	0	兼19
海外研修科目	海外語学研修	1後		2		0					兼1
	海外文化研修	1前・後		2							兼0
	小計 (2科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	兼1
外国語科目	英語a	1前	1			1	0	1			兼1
	英語b	1前	1			1		1			兼2
	日本語a-I	1前		1							兼1
	日本語a-II	1後		1							兼1
	日本語b-I	1前		1							兼1
	日本語b-II	1後		1							兼1
	小計 (6科目)	—	2	4	0	1	1	0	2	0	0
学部共通科目	国際セミナー	1前	1			3	3	0	2	0	
	国際異文化理解論	1前	2								兼1
	英語演習a	1後	1			1	0	1			兼1
	英語演習b	1後	1			1		1			兼2
	実践中国語 I	1後		2							兼1
	実践中国語 II	2前		2							兼1
	実践韓国語 I	1後		2							兼1
	実践韓国語 II	2前		2							兼1
	実践フランス語 I	1後		2							兼1
	実践フランス語 II	2前		2							兼1
	実践スペイン語 I	1後		2							兼1
	実践スペイン語 II	2前		2							兼1
	国際社会文化の基礎 (国際関係・交流論)	1前	2								兼1
	国際社会文化の基礎 (現代社会)	1後		2							兼1
	国際社会文化の基礎 (現代経済)	1前		2							兼1
	国際社会文化の基礎 (現代政治)	1後		2							兼1
	ことばと社会	3後		2							兼1
	ジェンダー&カルチュラルスタディーズ	3前		2				1			
	海外セミナーA	2後		12				1			
	海外セミナーB	2後・3期		24				1			
小計 (20科目)	—	7	62	0	1	3	0	3	0	0	兼13

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
英語コミュニケーションの基礎	ベーシック・ライティングⅠ	1前	2			1	1				
	ベーシック・ライティングⅡ	1後	2			1	1				
	ベーシック・リーディング	1前	2		1						
	インテンシブ・イングリッシュ	2前・後	2			1	1	1			
	英文法Ⅰ	1後	2							兼1	
	英文法Ⅱ	2前	2							兼1	
	留学準備	1前	2						1		
	トラベル・イングリッシュⅠ	1前	2						1		
	トラベル・イングリッシュⅡ	1後	2							兼1	
	実践英語Ⅰ-a	2前	2				1	1			
実践英語Ⅰ-b	2前	2			1			1			
実践英語Ⅱ-a	2後	2				1	1				
実践英語Ⅱ-b	2後	2			1			1			
会話と文化	2前・後	2			1					兼1	
異文化コミュニケーション	2後	2			1						
小計(15科目)	—	12	18	0	2	1	1	2	0	兼3	
展開と背景的知識Ⅰ(英語文学文化系)	映像化された英語文学の世界	1前	2					1			
	英語音声学	1後	2		1						
	英語圏文化概論	1後	2					1			
	英語圏文学Ⅰ	2前	2					1			
	英語圏文学Ⅱ	2後	2					1			
	英語の歴史	2前	2							兼1	
	キリスト教の歴史と文化	2後	2							兼1	
	英語圏の児童文学	2後	2							兼1	
	イギリスの社会と文化	2前	2							兼1	
	アメリカの社会と文化	3後	2			1					
	文学と女性	3前	2					1			
外国語としての日本語Ⅰ	3前	2							兼1		
外国語としての日本語Ⅱ	3後	2							兼1		
近現代と小説	3前	2						1			
小計(14科目)	—	0	28	0	1	1	0	3	0	兼4	
展開と背景的知識Ⅱ(実用英語系)	プレゼンテーション・スキルズ	1後	2		1		1				
	ビジネス英語Ⅰ	3前	2							兼1	
	ビジネス英語Ⅱ	3後	2				1				
	チュートリアル英語Ⅰ	3前	2				1				
	チュートリアル英語Ⅱ	3後	2				1				
	チュートリアル英語Ⅲ	3後	2							兼1	
	グローバル・トピックス	3前	2				1				
	パブリック・スピーキング	3前	2			1					
	国際交流a	3前	2						1		
	国際交流b	3後	2							兼1	
小計(10科目)	—	2	18	0	1	1	1	0	0	兼3	
応用と実践	翻訳入門	2前	2					1			
	日英語比較演習(翻訳・通訳)	2後	2							兼1	
	英検マスター	2後	2					1			
	ディベート&ディスカッション	3後	2			1					
	TOEICⅠ	2前	2		1						
	TOEICⅡ	2後	2					1			
	TOEICⅢ	2後	2		1						
小計(7科目)	—	0	14	0	1	1	0	2	0	兼1	

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
英語コミュニケーションの基礎	ベーシック・ライティングⅠ	1前	2			1	0			兼1
	ベーシック・ライティングⅡ	1後	2			1	0	1		
	ベーシック・リーディング	1前	2		1					
	インテンシブ・イングリッシュ	2前・後	2			1	1	0	1	
	英文法Ⅰ	1後	2							兼1
	英文法Ⅱ	2前	2							兼1
	留学準備	1前	2						1	
	トラベル・イングリッシュⅠ	1前	2						1	
	トラベル・イングリッシュⅡ	1後	2							兼1
	実践英語Ⅰ-a	2前	2				1	0	1	
	実践英語Ⅰ-b	2前	2			1	1	0	0	
	実践英語Ⅱ-a	2後	2				1	0	1	
	実践英語Ⅱ-b	2後	2			1	1	0	0	
	会話と文化	2前・後	2			1				兼1
	異文化コミュニケーション	2後	2			1				
小計(15科目)	—	12	18	0	2	2	0	2	0	兼4
展開と背景的知識Ⅰ(英語文学文化系)	映像化された英語文学の世界	1前	2				1		0	
	英語音声学	1後	2		1					
	英語圏文化概論	1後	2				1	0	0	
	英語圏文学Ⅰ	2前	2				1	0	0	
	英語圏文学Ⅱ	2後	2					1		
	英語の歴史	2前	2							兼1
	キリスト教の歴史と文化	2後	2							兼1
	英語圏の児童文学	2後	2							兼1
	イギリスの社会と文化	2前	2							兼1
	アメリカの社会と文化	3後	2			1				
	文学と女性	3前	2				1	0		
外国語としての日本語Ⅰ	3前	2							兼1	
外国語としての日本語Ⅱ	3後	2							兼1	
近現代と小説	3前	2				1	0			
小計(14科目)	—	0	28	0	1	3	0	1	0	兼4
展開と背景的知識Ⅱ(実用英語系)	プレゼンテーション・スキルズ	1後	2		1		0			兼1
	ビジネス英語Ⅰ	3前	2							兼1
	ビジネス英語Ⅱ	3後	2				0	1		
	チュートリアル英語Ⅰ	3前	2				0	1		
	チュートリアル英語Ⅱ	3後	2				0	1		
	チュートリアル英語Ⅲ	3後	2							兼1
	グローバル・トピックス	3前	2				0	1		
	パブリック・スピーキング	3前	2			1				
	国際交流a	3前	2							兼1
	国際交流b	3後	2							兼1
小計(10科目)	—	2	18	0	1	1	0	1	0	兼4
応用と実践	翻訳入門	2前	2					1		
	日英語比較演習(翻訳・通訳)	2後	2							兼1
	英検マスター	2後	2					1		
	ディベート&ディスカッション	3後	2			1				
	TOEICⅠ	2前	2		1					
	TOEICⅡ	2後	2				1	0		
	TOEICⅢ	2後	2		1					
小計(7科目)	—	0	14	0	1	2	0	1	0	兼1

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門ゼミ	英語専門ゼミA	2前		2		1						
	英語専門ゼミB	2前		2					1			
	英語専門ゼミC	2前		2		1						
	英語専門ゼミD	2後		2					1			
	論文作成ゼミⅠ	3前	2			3			3		兼1	
	論文作成ゼミⅡ	3後	2			3			3		兼1	
	卒業論文演習	4通	4			3			3		兼1	
	小計(7科目)	—	8	8	0	3	0	0	3	0	兼1	
に教職の指導法	英語科教育論Ⅰ	2前			2	1						
	英語科教育論Ⅱ	2後			2	1						
	英語科教育法Ⅰ	3前			2	1						
	英語科教育法Ⅱ	3後			2	1						
	小計(4科目)	—	0	0	8	1	0	0	0	0	兼0	
教職に関連する科目	教育原理(中・高)	1後			2							兼1
	教職入門	1前			2							兼1
	教育行政学	2前・後			2							兼1
	教育心理学	1後			2							兼1
	特別支援教育論	2前・後			2							兼1
	教育課程論	2前・後			2							兼1
	道徳教育の指導法	2前・後			2							兼1
	総合的な学習の時間の指導法	3前・後			2							兼1
	特別活動の指導法	3前・後			2							兼1
	教育の方法と技術	2前・後			2							兼1
	生徒・進路指導論	3前・後			2							兼2
	教育相談	3前・後			2							兼1
	教育実習事前事後指導	4前			1							兼3
	教育実習	4通			4							兼3
教職実践演習(中・高)	4後			2							兼2	
介護等体験	3通			2							兼2	
教職セミナー	2後			2							兼3	
小計(17科目)	—	0	0	35	0	0	0	0	0	兼7		
学校図書館司書教	学校経営と学校図書館	2前			2							兼1
	学校図書館メディアの構成	2後			2							兼1
	学習指導と学校図書館	2後			2							兼1
	読書と豊かな人間性	2前			2							兼1
	情報メディアの活用	2前			2							兼1
小計(5科目)	—	0	0	10	0	0	0	0	0	兼2		
司書に関連する科目	生涯学習概論	2前・後			2							兼1
	図書館概論	1前			2							兼1
	図書館制度・経営論	2後			2							兼1
	図書館情報技術論	2前			2							兼1
	図書館サービス概論	1後			2							兼1
	児童サービス論	2後			2							兼1
	情報サービス論	2後			2							兼1
	情報サービス演習A	2前			1							兼1
	情報サービス演習B	2後			1							兼1
	図書館情報資源概論	1後			2							兼1
	情報資源組織論	2後			2							兼1
	情報資源組織演習A	3前			1							兼1
	情報資源組織演習B	3後			1							兼1
	学校経営と学校図書館	2前			2							兼1
	読書と豊かな人間性	2前			2							兼1
	図書館情報資源特論	2前			2							兼1
	図書館総合演習	3前			1							兼1
	図書館実習	3前			1							兼1
小計(18科目)	—	0	0	30	0	0	0	0	0	兼6		

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門ゼミ	英語専門ゼミA	2前		2		1						
	英語専門ゼミB	2前		2				1	0			
	英語専門ゼミC	2前		2		1						
	英語専門ゼミD	2後		2				1	0			
	論文作成ゼミⅠ	3前	2			3		2	1		兼1	
	論文作成ゼミⅡ	3後	2			3		2	1		兼1	
	卒業論文演習	4通	4			3		2	1		兼1	
	小計(7科目)	—	8	8	0	3	2	0	1	0	兼1	
に教職の指導法	英語科教育論Ⅰ	2前			2	1						
	英語科教育論Ⅱ	2後			2	1						
	英語科教育法Ⅰ	3前			2	1						
	英語科教育法Ⅱ	3後			2	1						
	小計(4科目)	—	0	0	8	1	0	0	0	0	兼0	
教職に関連する科目	教育原理(中・高)	1後			2							兼1
	教職入門	1前			2							兼1
	教育行政学	2前・後			2							兼1
	教育心理学	1後			2							兼1
	特別支援教育論	2前・後			2							兼1
	教育課程論	2前・後			2							兼1
	道徳教育の指導法	2前・後			2							兼1
	総合的な学習の時間の指導法	3前・後			2							兼1
	特別活動の指導法	3前・後			2							兼1
	教育の方法と技術	2前・後			2							兼1
	生徒・進路指導論	2前・後			2							兼2
	教育相談	3前・後			2							兼1
	教育実習事前事後指導	4前			1							兼3
	教育実習	4通			4							兼3
教職実践演習(中・高)	4後			2							兼2	
介護等体験	3通			2							兼2	
教職セミナー	2後			2							兼3	
小計(17科目)	—	0	0	35	0	0	0	0	0	兼7		
学校図書館司書教	学校経営と学校図書館	2前			2							兼1
	学校図書館メディアの構成	2後			2							兼1
	学習指導と学校図書館	2後			2							兼1
	読書と豊かな人間性	2前			2							兼1
	情報メディアの活用	2前			2							兼1
小計(5科目)	—	0	0	10	0	0	0	0	0	兼2		
司書に関連する科目	生涯学習概論	2前・後			2							兼1
	図書館概論	1前			2							兼1
	図書館制度・経営論	2後			2							兼1
	図書館情報技術論	2前			2							兼1
	図書館サービス概論	1後			2							兼1
	児童サービス論	2後			2							兼1
	情報サービス論	2後			2							兼1
	情報サービス演習A	2前			1							兼1
	情報サービス演習B	2後			1							兼1
	図書館情報資源概論	1後			2							兼1
	情報資源組織論	2後			2							兼1
	情報資源組織演習A	3前			1							兼1
	情報資源組織演習B	3後			1							兼1
	学校経営と学校図書館	2前			2							兼1
	読書と豊かな人間性	2前			2							兼1
	図書館情報資源特論	2前			2							兼1
	図書館総合演習	3前			1							兼1
	図書館実習	3前			1							兼1
小計(18科目)	—	0	0	30	0	0	0	0	0	兼6		

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
博物館学芸員に関連する科目	博物館概論	2前			2							兼1
	博物館経営論	2後			2							兼1
	博物館情報・メディア論	2後			2							兼1
	生涯学習概論	2前・後			2							兼1
	博物館資料論	3前			2							兼1
	博物館展示論	3前			2							兼1
	博物館教育論	3後			2							兼1
	博物館資料保存論	4前			2							兼1
	博物館実習Ⅰ	4前			1							兼1
	博物館実習Ⅱ（館務実習）	4後			2							兼1
	美術史Ⅰ	1前			2							兼1
	美術史Ⅱ	1後			2							兼1
	古代学Ⅰ	2前			2							兼1
	古代学Ⅱ	2後			2							兼1
	民俗学Ⅰ	3前			2							兼1
	民俗学Ⅱ	3後			2							兼1
小計（16科目）	—	0	0	31	0	0	0	0	0	0	兼7	
合計（189科目）	—	33	248	114	3	1	1	3	0	0	兼88	

卒業要件及び履修方法

卒業要件には124単位以上の修得が必要である。全学に共通に開設される共通総合科目は24単位以上、学科において開設される専門教育科目は90単位以上で充たすこととする。学部には2つの学科が置かれるが、学生は在籍する学科の専門教育科目の履修を進め、当該学科の履修規程に従って卒業に必要とされる単位の修得を進める。

【英語コミュニケーション学科】

専門教育科目は、「学部共通科目」14単位以上、「英語コミュニケーションの基礎」20単位以上、「展開と背景的知識Ⅰ（英語文学文化系）」12単位以上、「展開と背景的知識Ⅱ（実用英語系）」8単位以上、「応用と実践」10単位以上、「専門ゼミ」10単位以上を修得すること。なお、卒業要件単位数の中に国際学科開設科目から取得した単位を6単位まで含めることができることとする。年間の履修単位数の登録の上限は、46単位とする。

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
博物館学芸員に関連する科目	博物館概論	2前			2							兼1
	博物館経営論	2後			2							兼1
	博物館情報・メディア論	2後			2							兼1
	生涯学習概論	2前・後			2							兼1
	博物館資料論	3前			2							兼1
	博物館展示論	3前			2							兼1
	博物館教育論	3後			2							兼1
	博物館資料保存論	4前			2							兼1
	博物館実習Ⅰ	4前			1							兼1
	博物館実習Ⅱ（館務実習）	4後			2							兼1
	美術史Ⅰ	1前			2							兼1
	美術史Ⅱ	1後			2							兼1
	古代学Ⅰ	2前			2							兼1
	古代学Ⅱ	2後			2							兼1
	民俗学Ⅰ	3前			2							兼1
	民俗学Ⅱ	3後			2							兼1
小計（16科目）	—	0	0	31	0	0	0	0	0	0	兼7	
合計（189科目）	—	33	248	114	3	3	0	2	0	0	兼89	

卒業要件及び履修方法

卒業要件には124単位以上の修得が必要である。全学に共通に開設される共通総合科目は24単位以上、学科において開設される専門教育科目は90単位以上で充たすこととする。学部には2つの学科が置かれるが、学生は在籍する学科の専門教育科目の履修を進め、当該学科の履修規程に従って卒業に必要とされる単位の修得を進める。

【英語コミュニケーション学科】

専門教育科目は、「学部共通科目」14単位以上、「英語コミュニケーションの基礎」20単位以上、「展開と背景的知識Ⅰ（英語文学文化系）」12単位以上、「展開と背景的知識Ⅱ（実用英語系）」8単位以上、「応用と実践」10単位以上、「専門ゼミ」10単位以上を修得すること。なお、卒業要件単位数の中に国際学科開設科目から取得した単位を6単位まで含めることができることとする。年間の履修単位数の登録の上限は、46単位とする。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「【臨地実務実習】」による授業科目には「【臨】」、「【連携実務演習】」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- 兼任教員退職により、「キャリアデザイン」の教員配置を「兼2」から「兼1」に変更。
 - 専任教員退職、及び専任教員（助教）准教授昇任により、「基礎ゼミ」の教員配置を「准教授0」から「准教授2」、「助教3」から「助教1」に変更。
 - 専任教員（助教）の准教授就任により、「外国の文学」の専任教員配置を「助教1」から「助教0」、「准教授0」から「准教授1」の変更。
 - 兼任教員の科目調整により、「ベーシックラーニング」の教員配置を「兼2」から「兼3」に変更。
 - 専任教員（助教）の准教授就任により、「ジェンダーと文学」の専任教員配置を「助教1」から「助教0」、「准教授0」から「准教授1」の変更。
 - 時間割調整により、「歴史学」の配当年次を「1前」から「1前・後」に変更。
 - 兼任教員の科目調整により、「漢字・かな文字の変遷」を教員配置を「兼2」から「兼1」に変更。
 - 兼任教員の役職者コマ数減により、「経済の仕組み」の教員配置を「兼2」から「兼1」に変更。
 - 兼任教員の役職者コマ数減により、「社会の仕組み」の教員配置を「兼2」から「兼1」に変更。
 - 兼任教員役職者コマ数減により、「20世紀の日本」の配当年次を「1前・後」から「1前」へ変更。
 - 兼任教員役職者コマ数減により、「家族と社会」の配当年次を「1前・後」から「1前」に変更。
 - 兼任教員の科目調整により、「ファッションの文化」の教員配置を「兼1」から「兼2」に変更。
 - コロナ感染拡大防止のため「加齢と高齢者の科学」の配当年次を「1前・後」から「1後」に変更。
 - 兼任教員就任により、「こどもと育児」の教員配置を「兼1」から「兼2」に変更。
 - 兼任教員退職により授業調整ができなくなったため「社会貢献と実践」休講することにより教員配置を「兼2」から「兼0」に変更。
 - 兼任教員の科目調整により、「家族とジェンダー」の教員配置を「兼1」から「兼2」に変更。
 - コロナ感染拡大防止のため「現代の教育」の配当年次を「1前・後」から「1後」に変更。
 - 兼任教員の科目調整により、「文化遺産に学ぶ」の教員配置を「兼1」から「兼2」に変更。
 - コロナ感染拡大防止のため「海外語学研修」の配当年次を「1前・後」から「1後」に変更、教員配置を「教授1」から「兼1」に変更。
 - コロナ感染拡大防止のため「海外文化研修」を休講することにより教員配置を「兼2」から「兼0」に変更。
 - 専任教員就任及び兼任教員の科目調整により、「英語a」の教員配置を「講師1」から「講師0」に変更。
 - 専任教員の就任辞退及び兼任教員の科目調整により、「英語b」の教員配置を「助教2」から「助教1」、「兼1」から「兼2」に変更。
 - 教職再課程認定に係る配当年次変更により「生徒・進路指導論」の配当年次を「3前・後」から「2前・後」へ変更。
-
- 専任教員の就任辞退及び専任教員（助教）の准教授昇任により「国際セミナー」の教員配置を「准教授1」から「准教授3」、「講師1」から「講師0」、「助教3」から「助教2」に変更。
 - 専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「英語演習a」の教員配置を「講師1」から「講師0」、「助教0」から「助教1」に変更。
 - 専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「英語演習b」の教員配置を「助教1」から「助教0」、「兼1」から「兼2」に変更。
 - 専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「海外セミナーA」の教員配置を「助教1」から「助教0」、「准教授0」から「准教授1」に変更。
 - 専任教員（助教）准教授昇任により「ジェンダー&カルチュラルスタディーズ」の教員配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」に変更。
 - 専任教員（助教）准教授昇任により「海外セミナーB」の教員配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」に変更。
 - 専任教員の就任辞退により、「ベーシック・ライティングI」の教員配置を「講師1」から「講師0」、「兼0」から「兼1」に変更。
 - 専任教員の就任辞退及び専任教員就任により「ベーシック・ライティングII」の教員配置を「講師1」から「講師0」、「助教0」から「助教1」に変更。
 - 専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「インテンシブ・イングリッシュ」の教員配置を「講師1」から「講師0」、「助教0」から「助教1」へ変更。
 - 専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「実践英語I-a」の教員配置を「講師1」から「講師0」、「助教0」から「助教1」へ変更。
 - 専任教員（助教）の准教授昇任により「実践英語I-b」の教員配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」へ変更。
 - 専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「実践英語II-a」の教員配置を「講師1」から「講師0」、「助教0」から「助教1」へ変更。
 - 専任教員（助教）の准教授昇任により「実践英語II-b」の教員配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」へ変更。
 - 専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「映像化された英語文学の世界」の教員配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」へ変更。
 - 専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「英語圏文化概論」の教員配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」へ変更。
 - 専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「英語圏文学I」の教員配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」へ変更。
 - 専任教員（助教）の准教授昇任により、「文学と女性」の教員配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」へ変更。
-
- 専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「近現代と小説」の教員配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」へ変更。
 - 専任教員の就任辞退により、「プレゼンテーション・スキルズ」の教員配置を「講師1」から「講師0」、「兼0」から「兼1」に変更。
 - 専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「ビジネス英語II」の教員配置を「講師1」から「講師0」、「助教0」から「助教1」に変更。
 - 専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「チュートリアル英語I」の教員配置を「講師1」から「講師0」、「助教0」から「助教1」に変更。
 - 専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「チュートリアル英語II」の教員配置を専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」、「助教0」から「助教1」に変更。
 - 専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「グローバル・トピックス」の教員配置を専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」、「助教0」から「助教1」に変更。
 - 専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「TOEIC II」の教員配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」へ変更。
 - 専任教員の昇格により、「英語専門ゼミB」の教員配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」へ変更。
 - 専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「英語専門ゼミD」の教員配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教1」から「助教0」へ変更。
 - 専任教員の就任辞退及び専任教員就任、専任教員（助教）の准教授昇任により、「論文作成ゼミI」の教員配置を「准教授0」から「准教授2」、「助教3」から「助教1」に変更。
 - 専任教員の就任辞退及び専任教員就任、専任教員（助教）の准教授昇任により、「論文作成ゼミII」の教員配置を「准教授0」から「准教授2」、「助教3」から「助教1」に変更。
 - 専任教員の就任辞退及び専任教員就任、専任教員（助教）の准教授昇任により、「卒業論文演習」の教員配置を「准教授0」から「准教授2」、「助教3」から「助教1」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
18 科目	111 科目	60 科目	189 科目	18 科目	111 科目	60 科目	189 科目	
[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	社会貢献と実践	2	1前	一般	選択	兼任教員退職により授業調整ができなくなったため。代替措置としては、退職した教員の人事を進め当科目の配当年次が1年から4年となっていることから来年度開講できるように準備を進める。
2	海外文化研修	2	1前・後	一般	選択	コロナ感染拡大防止のため。代替措置としては、海外渡航の科目であるためコロナ感染の状況をみながら来年度の開講準備を進める。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講となった科目は共通総合科目のため1~4年生まで履修が可能となっており、次年度以降に開講し履修の機会を提供する。学生に対しては、教育支援システムや連絡システムを使い時間割修正を周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{189} = \boxed{1.05} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容					備 考	
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	和洋国府台女子中学・ 高等学校(必要面積 18,193㎡)と共用 (収容定員:680人、 高等学校1,070人)		
	校舎敷地	9,938 ㎡	34,404 ㎡	4,711 ㎡	49,053 ㎡			
	運動場用地	80,548 ㎡	11,509 ㎡	5,170 ㎡	97,227 ㎡			
	小 計	90,486 ㎡	45,913 ㎡	9,881 ㎡	146,280 ㎡			
	そ の 他	0 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	0 ㎡			
	合 計	90,486 ㎡	45,913 ㎡	9,881 ㎡	146,280 ㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	和洋国府台女子中学・ 高等学校(必要面積 18,193㎡)と共用 (収容定員:680人、 高等学校1,070人)			
	50,544㎡ (50,544㎡)	2,757㎡ (2,757㎡)	1,564㎡ (1,564㎡)	54,865㎡ (54,865㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	43 室	27 室	36 室	6 室 (補助職員 0 人)	0 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	国際学部 英語コミュニケーション学科			8 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書・視聴覚は再精査の 結果、修正した。(2)
	国際学部 英語コミュニケー ション学科	28,697 [16,187] 28,660 [16,195] (28,697 [16,187]) (28,660 [16,195])	161 [109] (161 [109])	0 [0] (0 [0])	790 783 (790) (783)	0 (0)	0 (0)	
	計	28,697 [16,187] 28,660 [16,195] (28,697 [16,187]) (28,660 [16,195])	161 [109] (161 [109])	0 [0] (0 [0])	790 (790)	0 (0)	0 (0)	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		321,224 278,644	収納可能冊数は再精査の 結果、修正した(2)		
	3,673㎡	400						
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	6,005㎡	-						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費については、再精査の 結果、修正した。なお図書購入費 には電子ジャーナル、データペー ス購入費を含む。(2) 共同研究費等：研究費の算出方法 変更(2)
	教員1人当り研究費等	250千円	250千円	図書購入費	1,465千円 1,728千円	1,465千円 1,728千円	1,465千円 1,728千円	
	共同研究費等	70千円 1,031千円	70千円 1,031千円	設備購入費	0千円	0千円	0千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次 1,230千円	第2年次 980千円	第3年次 980千円	第4年次 980千円	第5年次 -千円	第6年次 -千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金、資産運用収入、事業収入、雑収入 他						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	和洋女子大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人文学部	4	240	—	1362	—	1.05	1.05	—	平成20	—	
国際学科	4	—	—	—	学士(文学)(教養)	—	—	—	平成26	千葉県市川市国府台2-3-1	令和2年学生募集停止
日本文学文化学科	4	110	—	446	学士(文学)	1.09	1.04	—	平成20	同上	
心理学科	4	60	—	265	学士(心理学)	1.05	1.13	—	平成26	同上	
こども発達学科	4	70	—	285	学士(教育学)	1.03	0.98	—	平成26	同上	
国際学部	4	120	—	120	—	1.10	1.10	—	令和2	—	
英語コミュニケーション学科	4	60	—	60	学士(英語コミュニケーション)	1.08	1.08	—	令和2	同上	
国際学科	4	60	—	60	学士(国際)	1.13	1.13	—	令和2	同上	
家政学部	4	290	—	1155	—	1.00	1.09	—	平成20	—	
服飾造形学科	4	60	—	285	学士(家政学)	0.99	1.28	—	平成20	同上	
健康栄養学科	4	120	—	485	学士(家政学)	1.09	1.04	—	平成20	同上	
家政福祉学科	4	110	—	385	学士(家政学)	0.92	1.04	—	平成20	同上	
看護学部	4	100	—	300	—	1.09	0.93	—	平成30	—	
看護学科	4	100	—	300	学士(看護学)	1.09	0.93	—	平成30	千葉県市川市国府台2-1-18	
大学全体	4	750	—	2937	—	1.03	1.06	—	—	—	
大学の名称	和洋女子大学大学院										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				
人文科学研究科	2	10	—	20	—	0.10	0.20	—	平成14	—	
英語文学専攻修士課程	2	5	—	10	修士(文学)	0.00	0.00	—	平成14	千葉県市川市国府台2-3-1	
日本文学専攻修士課程	2	5	—	10	修士(文学)	0.20	0.40	—	平成14	同上	
総合生活研究科	—	11	—	33	—	0.63	1.00	—	平成14	—	
総合生活専攻博士前期課程	2	8	—	16	修士(家政学)	0.62	1.00	—	平成14	同上	
総合生活専攻博士後期課程	3	3	—	9	博士(家政学または学術)	0.88	1.00	—	平成21	同上	
大学院 計	—	21	—	63	—	0.37	0.61	—	—	—	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<国際学部 英語コミュニケーション学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
専任	教授	河内山 有佐 <令和2年4月>	専任	教授	河内山 有佐 <令和2年4月>
		担当授業科目名 基礎ゼミ 海外語学研修 国際セミナー 実践英語 I-b 実践英語 II-b 会話と文化 異文化コミュニケーション 英語専門ゼミA 論文作成ゼミ I 論文作成ゼミ II 卒業論文演習			担当授業科目名 基礎ゼミ 海外語学研修 英語 b 国際セミナー 英語演習b 実践英語 I-b 実践英語 II-b 会話と文化 異文化コミュニケーション 英語専門ゼミA 論文作成ゼミ I 論文作成ゼミ II 卒業論文演習
専任	教授	拝田 清 <令和2年4月>	専任	教授	拝田 清 <令和2年4月>
		担当授業科目名 基礎ゼミ 英語b 国際セミナー 英語演習b 英語音声学 英語専門ゼミC 論文作成ゼミ I 論文作成ゼミ II 卒業論文演習 英語科教育論 I 英語科教育論 II 英語科教育法 I 英語科教育法 II			担当授業科目名 基礎ゼミ 国際セミナー 英語音声学 英語専門ゼミC 論文作成ゼミ I 論文作成ゼミ II 卒業論文演習 英語科教育論 I 英語科教育論 II 英語科教育法 I 英語科教育法 II
専任	教授	Romanko Rick Sam <令和2年4月>	専任	教授	Romanko Rick Sam <令和2年4月>
		担当授業科目名 基礎ゼミ 国際セミナー ベシック・ライティング インテンシブ・イングリッシュ プレゼンテーション・スキルズ TOEIC I TOEIC III 論文作成ゼミ I 論文作成ゼミ II 卒業論文演習			担当授業科目名 基礎ゼミ 国際セミナー ベシック・ライティング インテンシブ・イングリッシュ プレゼンテーション・スキルズ TOEIC I TOEIC III 論文作成ゼミ I 論文作成ゼミ II 卒業論文演習
専任	准教授	Benjamin Olah <令和2年4月>	専任	准教授	Benjamin Olah <令和2年4月>
		担当授業科目名 英語a 国際セミナー 英語演習a ベシック・ライティング I ベシック・ライティング II インテンシブ・イングリッシュ 実践英語 I-a 実践英語 II-a アメリカの社会と文化 パブリック・スピーキング ディベート&ディスカッション			担当授業科目名 英語a 国際セミナー 英語演習a ベシック・ライティング I ベシック・ライティング II インテンシブ・イングリッシュ 実践英語 I-a 実践英語 II-a アメリカの社会と文化 パブリック・スピーキング ディベート&ディスカッション
専任	講師	Brett James Davies <令和2年4月>			
		担当授業科目名 英語a 国際セミナー 英語演習a ベシック・ライティング I ベシック・ライティング II インテンシブ・イングリッシュ 実践英語 I-a 実践英語 II-a プレゼンテーション・スキルズ ビジネス英語 II チュートリアル英語 I チュートリアル英語 II グローバル・トピックス			
専任	助教	井上 博之 <令和2年4月>			
		担当授業科目名 基礎ゼミ 英語b 国際セミナー 英語演習b 海外ゼミナーA 狭域化された英語文学の世界 英語圏文化概論 英語圏文学 I 近現代と小説 TOEIC II 英語専門ゼミD 論文作成ゼミ I 論文作成ゼミ II 卒業論文演習			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
		坪野 圭介 <令和2年4月>			坪野 圭介 <令和2年4月>
専任	助教	基礎ゼミ 英語b 国際セミナー 英語演習b 留学準備 トラベル・イングリッシュ I 英語圏文学 II 翻訳入門 英検マスター 論文作成ゼミ I 論文作成ゼミ II 卒業論文演習	専任	助教	基礎ゼミ 英語b 国際セミナー 英語圏文学 II 翻訳入門 英検マスター 論文作成ゼミ I 論文作成ゼミ II 卒業論文演習
		星野 文子 <令和2年4月>			星野 文子 <令和2年4月>
専任	助教	基礎ゼミ 外国の文学 ジェンダーと文学 国際セミナー ジェンダー&カルチュラルスタ ディーズ 海外セミナーB 実践英語 I-b 実践英語 II-b 文学と女性 英語専門ゼミB 論文作成ゼミ I 論文作成ゼミ II 卒業論文演習	専任	准教授	基礎ゼミ 外国の文学 ジェンダーと文学 国際セミナー ジェンダー&カルチュラル スタディーズ 海外セミナーB 実践英語 I-b 実践英語 II-b 文学と女性 英語専門ゼミB 論文作成ゼミ I 論文作成ゼミ II 卒業論文演習
					長瀬 由星子 <令和2年4月>
			専任	准教授	基礎ゼミ 国際セミナー 海外セミナーA 秋徳化された英語文学の世界 英語圏文化概論 英語圏文学 I 近現代と小説 TOEIC II 英語専門ゼミD 論文作成ゼミ I 論文作成ゼミ II 卒業論文演習
					山本 貴重 <令和2年4月>
			専任	助教	英語a 国際セミナー 英語演習a ペーシク・ライティングII インテンシブ・イングリッ シュ 実践英語 I-a 実践英語 II-a ビジネス英語 II チュートリアル英語 I チュートリアル英語 II グローバル・トピックス
兼任	教授	小沢 哲史 <令和2年4月>	兼任	教授	小沢 哲史 <令和2年4月>
		人間の発達			人間の発達
兼任	教授	蟹谷 要 <令和2年4月>	兼任	教授	蟹谷 要 <令和2年4月>
		パソコンの基礎と応用 色彩の科学 化学 数理と発想			パソコンの基礎と応用 色彩の科学 化学 数理と発想
兼任	教授	加藤 紫織 <令和2年4月>	兼任	准教授	加藤 紫織 <令和2年4月>
		文化遺産に学ぶ 博物館概論 博物館情報・メディア論 博物館教育論 博物館資料保存論 博物館実習 I 博物館実習 II (館務実習)			文化遺産に学ぶ 博物館概論 博物館情報・メディア論 博物館教育論 博物館資料保存論 博物館実習 I 博物館実習 II (館務実習)
兼任	教授	金丸 裕志 <令和2年4月>	兼任	教授	金丸 裕志 <令和2年4月>
		20世紀の日本 国際社会文化の基礎 (現代政治)			20世紀の日本 国際社会文化の基礎 (現代政治)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	金子 健彦 <令和2年4月>	兼任	教授	金子 健彦 <令和2年4月>
		女性と美容			女性と美容
兼任	教授	小林 勉 <令和2年4月>	兼任	教授	小林 勉 <令和2年4月>
		住まいとデザイン			住まいとデザイン
兼任	教授	柴内 靖 <令和2年4月>	兼任	教授	柴内 靖 <令和2年4月>
		教職入門 道徳教育の指導法 特別活動の指導法 生徒・進路指導論 教育実習事前事後指導 教育実習 教職セミナー			教職入門 道徳教育の指導法 特別活動の指導法 生徒・進路指導論 教育実習事前事後指導 教育実習 教職セミナー
兼任	教授	庄司 紀佐 <令和2年4月>			
		加齢と高齢者の科学			
兼任	教授	白鳥 孝子 <令和2年4月>	兼任	教授	白鳥 孝子 <令和2年4月>
		看護の知識※			看護の知識※
兼任	教授	新谷 奈苗 <令和2年4月>	兼任	教授	新谷 奈苗 <令和2年4月>
		看護の知識※			看護の知識※
兼任	教授	杉浦 功一 <令和2年4月>	兼任	教授	杉浦 功一 <令和2年4月>
		国際関係入門 国際社会文化の基礎(国際関係・交流論)			国際関係入門 国際社会文化の基礎(国際関係・交流論)
兼任	教授	鈴木 葉子 <令和2年4月>	兼任	教授	鈴木 葉子 <令和2年4月>
		生命と医療の倫理			生命と医療の倫理
兼任	教授	高梨 一彦 <令和2年4月>	兼任	教授	高梨 一彦 <令和2年4月>
		教育相談			教育相談
兼任	教授	田口 久美子 <令和2年4月>	兼任	教授	田口 久美子 <令和2年4月>
		教育心理学 生徒・進路指導論 教育実習事前事後指導 教育実習 教職実証演習(中・高) 介護等体験 教職セミナー			教育心理学 生徒・進路指導論 教育実習事前事後指導 教育実習 教職実証演習(中・高) 介護等体験 教職セミナー
兼任	教授	刀根 洋子 <令和2年4月>	兼任	教授	刀根 洋子 <令和2年4月>
		看護の知識※			看護の知識※
兼任	教授	中垣 紀子 <令和2年4月>	兼任	教授	中垣 紀子 <令和2年4月>
		看護の知識※			看護の知識※
兼任	教授	中澤 明美 <令和2年4月>	兼任	教授	中澤 明美 <令和2年4月>
		看護の知識※			看護の知識※
兼任	教授	中村 威久水 <令和2年4月>	兼任	教授	中村 威久水 <令和2年4月>
		日本の美術 西洋の美術			日本の美術 西洋の美術

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	教授	菱田 隆昭 <令和2年4月>	兼担	教授	菱田 隆昭 <令和2年4月>
		現代的教育 教育原理(中・高) 教育課程論 教育実習事前事後指導 教育実習 教職実践演習(中・高) 介護等体験 教職セミナー			現代的教育 教育原理(中・高) 教育課程論 教育実習事前事後指導 教育実習 教職実践演習(中・高) 介護等体験 教職セミナー
兼担	教授	藤丸 麻紀 <令和2年4月>	兼担	教授	藤丸 麻紀 <令和2年4月>
		経済の仕組み 国際社会文化の基礎(現代経済)			国際社会文化の基礎(現代経済)
兼担	教授	吉畑 公 <令和2年4月>	兼担	教授	吉畑 公 <令和2年4月>
		健康と食生活			健康と食生活
兼担	教授	湊 久美子 <令和2年4月>	兼担	教授	湊 久美子 <令和2年4月>
		社会貢献と実践 健康の科学 スポーツ実習 フィットネス実習			健康の科学 スポーツ実習 フィットネス実習
兼担	教授	矢萩 恭子 <令和2年4月>			
		こどもと育児			
兼担	教授	山下 景秋 <令和2年4月>	兼担	教授	山下 景秋 <令和2年4月>
		経済の仕組み			経済の仕組み
兼担	教授	吉田 昭 <令和2年4月>	兼担	教授	吉田 昭 <令和2年4月>
		学校経営と学校図書館 学校図書館メディアの構成 学習指導と学校図書館 情報メディアの活用 図書館概論 図書館制度・経営論 図書館情報資源概論 情報資源総論 情報資源総論演習A 情報資源総論演習B 図書館情報資源特論 図書館総合演習 図書館実習			学校経営と学校図書館 学校図書館メディアの構成 学習指導と学校図書館 情報メディアの活用 図書館概論 図書館制度・経営論 図書館情報資源概論 情報資源総論 情報資源総論演習A 情報資源総論演習B 図書館情報資源特論 図書館総合演習 図書館実習
兼担	教授	李(里正) 明伍 <令和2年4月>	兼担	教授	李(里正) 明伍 <令和2年4月>
		社会の仕組み 家族と社会 国際社会文化の基礎(現代社会)			家族と社会 国際社会文化の基礎(現代社会)
兼担	准教授	岡本 秀明 <令和2年4月>	兼担	准教授	岡本 秀明 <令和2年4月>
		家族と福祉			家族と福祉
兼担	准教授	金井 智恵子 <令和2年4月>	兼担	准教授	金井 智恵子 <令和2年4月>
		人間の発達			人間の発達
兼担	准教授	木村 尚志 <令和2年4月>	兼担	准教授	木村 尚志 <令和2年4月>
		日本の文学 表現と創作 海外文化研修			日本の文学 表現と創作
兼担	准教授	黒田 誠 <令和2年4月>	兼担	准教授	黒田 誠 <令和2年4月>
		こんにちの文化			こんにちの文化

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)年月 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	佐藤 淳一 <令和2年4月>	兼任	准教授	佐藤 淳一 <令和2年4月>
		表現と創作			ベーシックラーニング 表現と創作
兼任	准教授	清水 冬樹 <令和2年4月>			
		社会福祉の展望 社会貢献と実践			
兼任	准教授	秦泉寺(飯島) 友紀 <令和2年4月>	兼任	教授	秦泉寺(飯島) 友紀 <令和2年4月>
		社会の仕組み			社会の仕組み
兼任	准教授	多賀 昌樹 <令和2年4月>	兼任	准教授	多賀 昌樹 <令和2年4月>
		健康と食生活			健康と食生活
兼任	准教授	寺島 瞳 <令和2年4月>	兼任	准教授	寺島 瞳 <令和2年4月>
		心理の科学			心理の科学
兼任	准教授	山本 高美 <令和2年4月>	兼任	准教授	山本 高美 <令和2年4月>
		パソコンの基礎と応用 服装の科学			パソコンの基礎と応用 服装の科学
兼任	准教授	弓削田 綾乃 <令和2年4月>	兼任	准教授	弓削田 綾乃 <令和2年4月>
		健康の科学 スポーツ実習 フィットネス実習			健康の科学 スポーツ実習 フィットネス実習
兼任	講師	永岡 裕康 <令和2年4月>	兼任	講師	永岡 裕康 <令和2年4月>
		パソコンの基礎と応用			パソコンの基礎と応用
兼任	講師	Langley Dara Francis <令和2年4月>	兼任	講師	Langley Dara Francis <令和2年4月>
		英語a 英語演習a トラベルイングリッシュII チュートリアル英語III			英語a 海外留学研修 英語演習a トラベルイングリッシュII チュートリアル英語III
兼任	助教	板垣 武尊 <令和2年4月>	兼任	助教	板垣 武尊 <令和2年4月>
		国際異文化理解論			国際異文化理解論
兼任	助教	内田 翔大 <令和2年4月>	兼任	助教	内田 翔大 <令和2年4月>
		英語b 英語演習b ことばと社会 英文法I 英文法II ビジネス英語I 論文作成ゼミI 論文作成ゼミII 卒業論文演習			英語b 英語演習b ことばと社会 英文法I 英文法II ビジネス英語I 論文作成ゼミI 論文作成ゼミII 卒業論文演習
兼任	助教	梅山 聡 <令和2年4月>	兼任	准教授	梅山 聡 <令和2年4月>
		日本の文学			日本の文学
兼任	助教	大塚 千紗子 <令和2年4月>	兼任	助教	大塚 千紗子 <令和2年4月>
		ベーシックラーニング			ベーシックラーニング
兼任	助教	小野 真嗣 <令和2年4月>	兼任	助教	小野 真嗣 <令和2年4月>
		博物館資料論 古代学I 古代学II			文化遺産に学ぶ 博物館資料論 古代学I 古代学II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	助教	織田 奈緒子 <令和2年4月>	兼任	助教	織田 奈緒子 <令和2年4月>
		ファッションの文化			ファッションの文化
兼任	助教	上村 明 <令和2年4月>	兼任	助教	上村 明 <令和2年4月>
		健康の科学 スポーツ実習			健康の科学 スポーツ実習
兼任	助教	桑原 里実 <令和2年4月>	兼任	助教	桑原 里実 <令和2年4月>
		看護の知識※			看護の知識※
兼任	助教	中村 光絵 <令和2年4月>			
		現代の教育			
兼任	助教	永澤 貴昭 <令和2年4月>	兼任	助教	永澤 貴昭 <令和2年4月>
		健康の科学			健康の科学
			兼任	教授	佐藤 宏子 <令和2年4月>
					家族とジェンダー
			兼任	教授	田代 和美 <令和2年4月>
					子どもと育児
			兼任	教授	矢野 誠彦 <令和2年4月>
					現代の教育
			兼任	准教授	小澤 京子 <令和2年4月>
					美術史Ⅰ 美術史Ⅱ
			兼任	准教授	二宮 祐子 <令和2年4月>
					社会福祉の歴史
			兼任	准教授	森本 美紀 <令和2年4月>
					ファッションの文化
兼任	講師	井口 崇 <令和2年4月>	兼任	講師	井口 崇 <令和2年4月>
		博物館経営論			博物館経営論
兼任	講師	石川 圭一 <令和2年4月>			
		漢字・かな文字の変遷			
兼任	講師	石橋 幸子 <令和2年4月>	兼任	講師	石橋 幸子 <令和2年4月>
		読書と豊かな人間性			読書と豊かな人間性
兼任	講師	市橋 明典 <令和2年4月>	兼任	講師	市橋 明典 <令和2年4月>
		実践フランス語Ⅰ 実践フランス語Ⅱ			実践フランス語Ⅰ 実践フランス語Ⅱ
兼任	講師	植田 幹男 <令和2年4月>	兼任	講師	植田 幹男 <令和2年4月>
		ベーシックラーニング			ベーシックラーニング
兼任	講師	宇佐美 かおる <令和2年4月>	兼任	講師	宇佐美 かおる <令和2年4月>
		フィットネス実習			フィットネス実習
兼任	講師	大久保 洋子 <令和2年4月>			
		実践中国語Ⅰ 実践中国語Ⅱ			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名
兼任	講師	大森 美佐 <令和2年4月>	大森 美佐 <令和2年4月>
		家族とジェンダー	家族とジェンダー
兼任	講師	奥田 環 <令和2年4月>	奥田 環 <令和2年4月>
		博物館展示論	博物館展示論
兼任	講師	鹿倉 壮史 <令和2年4月>	鹿倉 壮史 <令和2年4月>
		漢字・かな文字の変遷	漢字・かな文字の変遷
兼任	講師	加藤 はるか <令和2年4月>	加藤 はるか <令和2年4月>
		歴史学	歴史学
兼任	講師	加藤 将貴 <令和2年4月>	加藤 将貴 <令和2年4月>
		パソコンの基礎と応用	パソコンの基礎と応用
兼任	講師	門脇 由紀子 <令和2年4月>	門脇 由紀子 <令和2年4月>
		キリスト教の歴史と文化	キリスト教の歴史と文化
兼任	講師	金塚 基 <令和2年4月>	金塚 基 <令和2年4月>
		生涯学習概論	生涯学習概論
兼任	講師	川嶋 充 <令和2年4月>	川嶋 充 <令和2年4月>
		手書き文字の世界	手書き文字の世界
兼任	講師	木野 景子 <令和2年4月>	
		日本語a-I 日本語a-II 日本語b-I 日本語b-II	
兼任	講師	金 順任 <令和2年4月>	金 順任 <令和2年4月>
		実践韓国語 I 実践韓国語 II	実践韓国語 I 実践韓国語 II
兼任	講師	金 範洙 <令和2年4月>	
		海外文化研修	
兼任	講師	香山 綾子 <令和2年4月>	香山 綾子 <令和2年4月>
		生命の科学	生命の科学
兼任	講師	神戸 万知 <令和2年4月>	神戸 万知 <令和2年4月>
		日英語比較演習(翻訳・通訳)	英語も 英語演習も 日英語比較演習(翻訳・通訳)
兼任	講師	小林 稔 <令和2年4月>	小林 稔 <令和2年4月>
		民俗学 I 民俗学 II	民俗学 I 民俗学 II
兼任	講師	小室 敬幸 <令和2年4月>	小室 敬幸 <令和2年4月>
		音楽の歴史 音楽の楽しみ	音楽の歴史 音楽の楽しみ
兼任	講師	齋藤 淑子 <令和2年4月>	齋藤 淑子 <令和2年4月>
		児童サービス論	児童サービス論
兼任	講師	酒井 博美 <令和2年4月>	酒井 博美 <令和2年4月>
		心理の科学	心理の科学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)年月 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	坂本 成生 <令和2年4月>	兼任	講師	坂本 成生 <令和2年4月>
		図書館情報技術論 図書館サービス概論			図書館情報技術論 図書館サービス概論
兼任	講師	白川 優治 <令和2年4月>	兼任	講師	白川 優治 <令和2年4月>
		教育行政学			教育行政学
兼任	講師	菅原 令子 <令和2年4月>	兼任	講師	菅原 令子 <令和2年4月>
		哲学への誘い			哲学への誘い
兼任	講師	高久田 佳津子 <令和2年4月>	兼任	講師	高久田 佳津子 <令和2年4月>
		英語の歴史			英語の歴史
兼任	講師	高瀬 愛 <令和2年4月>	兼任	講師	高瀬 愛 <令和2年4月>
		会話と文化 外国語としての日本語 I 外国語としての日本語 II 国際交流a 国際交流b			会話と文化 外国語としての日本語 I 外国語としての日本語 II 国際交流a 国際交流b
兼任	講師	千葉 昇 <令和3年4月>	兼任	講師	千葉 昇 <令和3年4月>
		総合的な学習の時間の指導法			総合的な学習の時間の指導法
兼任	講師	戸田 里和 <令和2年4月>			
		キャリアデザイン			
兼任	講師	奈良 玲子 <令和2年4月>	兼任	講師	奈良 玲子 <令和2年4月>
		キャリアデザイン			キャリアデザイン
兼任	講師	難波 秀行 <令和2年4月>	兼任	講師	難波 秀行 <令和2年4月>
		スポーツ実習			スポーツ実習
兼任	講師	新倉 慎右 <令和2年4月>			
		美術史 I 美術史 II			
兼任	講師	西巻 悦子 <令和2年4月>	兼任	講師	西巻 悦子 <令和2年4月>
		情報サービス論 情報サービス演習A 情報サービス演習B			情報サービス論 情報サービス演習A 情報サービス演習B
兼任	講師	野村 勝彦 <令和2年4月>	兼任	講師	野村 勝彦 <令和2年4月>
		特別支援教育論 教育の方法と技術			特別支援教育論 教育の方法と技術
兼任	講師	菱田 信彦 <令和2年4月>	兼任	講師	菱田 信彦 <令和2年4月>
		英語圏の児童文学 イギリスの社会と文化			英語圏の児童文学 イギリスの社会と文化
兼任	講師	日野 勝吾 <令和2年4月>	兼任	講師	日野 勝吾 <令和2年4月>
		日本国憲法 憲法と人権			日本国憲法 憲法と人権
兼任	講師	山浦 アンヘラ <令和2年4月>	兼任	講師	山浦 アンヘラ <令和2年4月>
		実践スペイン語 I 実践スペイン語 II			実践スペイン語 I 実践スペイン語 II
			兼任	教授	原子はるみ <令和2年4月>
					こどもと育児
			兼任	講師	倉八 順子 <令和2年4月>
					日本語a-I 日本語a-II 日本語b-I 日本語b-II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	斎 桐 <令和2年4月> 実践中国語 I 実践中国語 II
			兼任	講師	Brett James Davies <令和2年4月> ベーシック・ライティング I プレゼンテーション・スキルズ
			兼任	講師	矢野 明宏 <令和2年4月> 加齢と高齢者の科学

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に基づいて作成してください。
 - ・ 「認可済又は届出済」には、設置認可済又は届出済の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 - ・ その上で、**職員録又は届出済から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日職員録の誕生日**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(外)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不安な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

<ul style="list-style-type: none">・ Brett James Davies専任講師就任辞退により、専任・兼任・兼任の別を「兼任」に変更。後任として山本貴恵専任助教就任。すべての授業科目の担当者変更。・ 井上博之専任助教就任辞退により、後任として長妻由里子准教授就任。・ 「英語b」「英語演習b」を除く全ての科目を長妻由里子准教授に担当者変更。「英語b」「英語演習b」は神戸万知兼任講師に担当者変更。・ 拝田清専任教授の科目調整により「英語b」「英語演習b」を削除。河内山有佐専任教授に担当者変更。・ 大久保洋子兼任講師の就任辞退により、「実践中国語Ⅰ」「実践中国語Ⅱ」を蔡娟兼任講師に担当者変更。・ 皇野文子専任助教の准教授昇任により、職位を助教（専任）から准教授（専任）に変更。・ 戸田里和講師（兼任）、退職により「キャリアデザイン」を削除。・ 佐藤清一准教授（兼任）、担当科目調整により「ベーシックラーニング」を追加。・ 石川圭一講師（兼任）、担当科目調整により「漢字・かな文字の変遷」を削除。・ 藤丸麻紀教授（兼任）、役職者コマ教減により「経済の仕組み」を削除。・ 里止明吉教授（兼任）、役職者コマ教減により「社会の仕組み」を削除。・ 森本美紀准教授（兼任）、担当科目調整により「ファッションの文化」を追加。・ 清水冬樹准教授（兼任）、担当科目調整により「社会福祉の展望」をら二宮祐子准教授（兼任）に変更。・ 庄司妃佐教授（兼任）、コロナ感染拡大防止のため「加齢と高齢者の科学」を矢野明宏講師（兼任）に変更。・ 矢野明吉教授（兼任）、担当科目調整により「こどもと育児」の担当者を田代和美教授（兼任）、原子はるみ教授（兼任）に変更。・ 嶋根敬子教授（兼任）、退職により「看護の知識」を桑原里美助教（兼任）に変更。・ 清水冬樹准教授（兼任）退職及び、浅久美子教授（兼任）担当科目調整により「社会貢献と実践」の担当者を削除。・ 佐藤宏子教授（兼任）、担当科目調整により「家族とジェンダー」を追加。・ 中村光絵助教（兼任）、コロナ感染拡大防止のため「現代の教育」を矢野誠志郎教授（兼任）に変更。・ 小野真嗣助教（兼任）、担当科目調整により「文化遺産に学ぶ」を追加。・ 木村尚志准教授（兼任）、金範洙講師（兼任）、コロナ感染拡大防止のため「海外文化研修」を削除。・ 河内山有佐教授（専任）、コロナ感染拡大防止のため「海外語学研修」をLangley Dara Francis講師（兼任）に変更。・ 木野景子講師（兼任）、退職により「日本語a-I」、「日本語a-II」、「日本語b-I」、「日本語b-II」を倉八順子講師（兼任）に変更。・ 新倉慎石講師（兼任）、退職により「美術史Ⅰ」、「美術史Ⅱ」を小澤京子准教授（兼任）に変更。・ 加藤崇徳特任教授（兼任）の准教授昇任により、職名を（特任）教授（兼任）から准教授（兼任）に変更。・ 秦泉寺（飯島）友紀兼任准教授の教授昇任により、職名を准教授（兼任）から教授（兼任）に変更。・ 梅山聡兼任助教の准教授昇任により、職名を助教（兼任）から准教授（兼任）に変更。
--

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **歴で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
 - ・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
6	3
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
3	1	1	3	8	0	3	2	0	3	8	0
(3)	(2)	(0)	(3)	(8)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
3	2	0	3	8	0	3	2	0	3	8	0
[0]	[1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{8}{8} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	講師	Brett James Davies	R元. 12	必修	英語a	①	R元. 12一身上の都合のため就任辞退（2）						
				必修	国際セミナー	①							
				必修	英語演習a	①							
				必修	ベーシック・ライティングI	②							
				選択	ベーシック・ライティングII	①							
				必修	インテンシブ・イングリッシュ	①							
				必修	実践英語I-a	①							
				必修	実践英語II-a	①							
				必修	プレゼンテーション・スキルズ	②							
				選択	ビジネス英語II	①							
				選択	チュートリアル英語I	①							
				選択	チュートリアル英語II	①							
選択	グローバル・トピックス	②											
2	助教	井上 博之	R元. 9	必修	基礎ゼミ	①	R元. 9一身上の都合のため就任辞退（2）						
				必修	英語b	①							
				必修	国際セミナー	①							
				必修	英語演習b	①							
				選択	海外セミナーA	①							
				選択	映像化された英語文学の世界	①							
				選択	英語圏文化概論	①							
				選択	英語圏文学I	①							
				選択	近現代と小説	①							
				選択	TOEIC II	①							
				選択	英語専門ゼミD	①							
				必修	論文作成ゼミI	①							
				必修	論文作成ゼミII	①							
				必修	卒業論文演習	①							
合計（D）				後任補充状況の集計（E）									
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）					
2	人	必修	15	科目	必修	13	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	12	科目	選択	11	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	27	科目	計	24	科目	計	3	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計（F）				後任補充状況の集計（G）						
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D) + (F)				後任補充状況の集計(E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
2	人	必修	15 科目	必修	13 科目	必修	2 科目	必修	0 科目
		選択	12 科目	選択	11 科目	選択	1 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	27 科目	計	24 科目	計	3 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{2}{8} = \boxed{25} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし							
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

令和元年9月及び同12月に就任辞退のあった専任教員2名(講師1名と助教1名)について、令和2年4月に准教授1名、助教1名の補充を行った。補充となった当該教員2名は辞退となった教員2名とそれぞれ同じ専門分野(英語圏文化・文学、英語教育法)で実績があり、学部の教育課程の構造に影響を及ぼすものではない。本学部の英語コミュニケーション学科会議を実質的な単位として、教育計画上の引継ぎを行っている。学生に対しては、教員一覧をホームページ上に掲載するとともに、ガイダンス時に教員紹介を行い、周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
届 出 時 (平成31年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<国際学部 英語コミュニケーション学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況
平成30年度からは、全体協議会を廃して新設した「大学評議会」にて、FDの計画と実施及び自己点検を、引き続き担当している。 ※別添「和洋女子大学大学評議会規程」

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
大学評議会は、学長が議長となり、月2回開催することになっている。構成員は、学長・副学長・学部長等・部門長等・事務局長である。なお、会議で決議された事項を速やかに実施するために、事務局部長等(5名)が陪席している。令和元年度は合計22回開催され、全員が出席している。

c 委員会の審議事項等
審議事項は、大学の運営に関わる事項についてである。特に次の事項については、担当制とし、責任をもって行うこととしている。①大学認証評価、②目標と計画(2年計画)、③授業評価アンケート、④学生生活アンケート、⑤FD企画立案、⑥教員実践点検シート、⑦教学マネジメント評価委員会

② 実施状況

全学FDの開催状況

第1回目：平成31年4月1日 内容：新任教員に対する本学の教育理念ほかについて
講師：学長 出席者：13名（出席率100%）

第2回目：令和元年6月25日 内容：「ハラスメント防止研修講演」
講師：株式会社フォーブレーション シニアコンサルタント 出席者：95名（出席率73.6%）

第3回目：令和元年10月15日 内容：「私立大学をめぐる諸情勢について—大学改革の諸側面—」
講師：文部科学省高等教育局 私学部私学行政課長 出席者：108名（出席率82.4%）

国際学部英語コミュニケーション学科FDの開催状況

人文学部FD：令和2年1月21日 内容：「人文学部と国際学部における教育の質保証」
講師：人文学部長 出席者：45名（出席率95.7%）

国際学科FD：令和元年10月15日「新学部学科の展開について」
講師：国際学科長 出席者：15名（出席率100%）

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期
前期・後期に各1回実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等
結果を各授業担当者に公開するとともに、評価結果を分析・各教員の所感をまとめた報告書を作成し、学内ネットワークを通じて教職員に対して開示している。また、所感を除いた報告書は大学ホームページで公開している。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項 「該当なし」

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。
併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況 (回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

国際学部は、経済社会だけでなく文化生活も世界中の国々との交流の上に成り立っているグローバル化時代において、英語をはじめとする外国語を使い、相手の文化を知りそれを受容しながら自らの社会や文化を伝えることができ、大きく動く経済社会において常に自身の立ち位置を確認し、多様な文化を持つ人々と協働しながら、新しい価値やモノを創造することのできる人材を育成することを目的として2020年4月に設置された。

2020年度の学生募集活動では、オープンキャンパスや高校訪問、HP・マスメディア・SNSなどのメディアを通して国際学部の教育課程の特色について積極的に広報を行い、志願者891名（英語コミュニケーション学科404名、国際学科497名）、入学者133名（英語コミュニケーション学科65名、国際学科68名）となった。これは国際学部設置にあたって「学生の確保の見通し」の確認のために行った高校生に対するアンケート調査の結果を大幅に上回るものであり、進学先として国際学部が幅広く多くの受験生に選ばれていることが確認された。

そして入学が確定した受験生に対しては、全学レベル及び学部・学科単位で2回（2019年12月1日、2020年2月15日）にわたり、大学・学部・学科の学びについて理解を深め教員との交流を図ることを目的とする「プレわよらカフェ」というイベントを大学のキャンパスで行い、1月14日から3月31日までの間に国語や社会に関するeラーニングを中心とした「入学前学習プログラム（わようドリル）」を実施した。これらの活動は大学教育へのスムーズな接続と学部・学科への帰属意識の強化を意図したものであり、一定の効果が得られたものとする。

4月1日からの新学期については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により遠隔授業を中心とした教育形式がとられることとなった。国際学部では大学が導入している「manaba course」というICTシステムの利用を中心に据え1年次の入門教育課程が滞りなく展開できるよう準備を整えている。このような体制のもと5月18日からの授業が順調に展開できるものと確信する。

教員組織に関しては学部運営や開講科目に必要な員数と職位構成の要件を十分に満たしており（教授8名、准教授3名、講師1名、助教5名）、きめ細やかな学生指導ができる体制を整えていると考える。

今後は面接授業に向けいつでも遠隔授業からの移行がスムーズにできるよう準備を進めるとともに、全体的に設置計画に基づく、学年進行に対応した教育課程の展開が着実に進められるよう工夫を重ねていきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成27年4月 公表

b 公表方法

・点検・評価報告書を発行し、大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

平成26年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）による評価の結果、適合と認定された。

認定の期間は2022年3月までであり、2021年度に次回の認証評価を受審する予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 [()]

*設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに掲載するなど、積極的な情報提供をお願いします。

○和洋女子大学大学評議会規程

（設置）

第1条 和洋女子大学学則第8条の規定に基づき、本学に大学評議会（以下「本会」という。）を置く。

（目的）

第2条 本会は、大学の充実と運営の効率化を図るため、大学運営等に関する重要な以下の事項について、審議を行うとともに、必要な連絡調整を行うことを目的とする。

- （1）大学の将来構想及び中期計画・目標の企画立案に関する事項
- （2）教員人事に関する事項（採用に伴う手続きは別に定める）
- （3）自己点検及び評価の企画・実施に関する事項
- （4）FD（ファカルティ・ディベロップメント）に関する事項
- （5）学長が必要と認めた事項

2 本会は、審議した事項について、必要に応じて教授会に報告しなければならない。教授会は、特に必要がある場合には、本会が審議した事項について、改めて審議し、本会に意見を述べることができる。

（構成員）

第3条 本会は、学長、副学長、学部長、部門長、図書館長、事務局長をもって構成する。

2 本会が必要と認めたときは、前項の規定に関わらず、その他の教職員の出席を求め、意見を聴くことができる。

（会議）

第4条 本会は、原則として定期開催する。ほかに、学長が必要と認めたとき、又は構成員の2分の1以上の要求があったときは、学長がこれを招集する。

2 本会は大学院評議会と合同で開催することができる。

（議長）

第5条 本会の議長は、学長がこれに当たる。

2 学長に支障があるときは、学長があらかじめ指名する者がこれを代行する。

（成立要件）

第6条 本会は、委任状を含めて構成員（国内研修派遣者、海外研修派遣者、退職者、育児休業者及び介護休業者を除く。）の3分の2以上の出席をもって成立する。

（議決）

第7条 本会の議決ならびに教授会の審議結果を参酌し、学長は事項に関する方針を決定する。

（議事の公開）

第8条 本会の議事は、非公開とする。

（庶務）

第9条 本会の庶務については、学事課が担当する。

（規程の改廃）

第10条 この規程の改廃は、和洋学園諸規程の管理規程の定めによる。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から制定施行する。

本規程の制定により、和洋女子大学大学運営会議規程（平成27年4月1日制定施行）、全体協議会規程（平成10年3月17日制定施行）及び全体協議会運営規程（平成10年3月17日制定）については、平成30年3月31日をもって廃止する。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 和洋学園

(2) 大学名

和洋女子大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒272-8533
千葉県市川市国府台2-3-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ナガサカ ケンジロウ) 長坂 健二郎 (平成27年5月)		
学長	(キシダ コウジ) 岸田 宏司 (平成24年4月)		
学部長	(サトマサ メイゴ) 里正 明伍 (令和2年4月)		
学科長等	(フジマル マキ) 藤丸 麻紀 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
国際学部 国際学科 学士(国際)	文学関係	4年	60人	— 年次人	240人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	60人 60 (—) [—]	—人	人	人	人	人	人	人	人	人	1.13倍	—	
志願者数	487 (—) [—]	—	()	()	()	()	()	()	()	()			
受験者数	478 (—) [—]	—	()	()	()	()	()	()	()	()			
合格者数	118 (—) [—]	—	()	()	()	()	()	()	()	()			
B 入学者数	68 (—) [—]	—	()	()	()	()	()	()	()	()			
入学定員超過率 B/A	1.13												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	68 [-] (-)	— [-] (-)	[] ()								
2年次	/		[] ()								
3年次	/		/		[] ()						
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計	68 [-] (-)		[] ()		[] ()		[] ()		[] ()		

・ 令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	68 人	0 人	令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
合計		0 人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{68} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<国際学部 国際学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
和洋アビリティーズ科目	キャリアデザイン基礎ゼミ	1前・後	2								兼2
	パソコンの基礎と応用	1前	2			4	1		3		兼4
	ベーシックラーニング	1前・後	2								兼2
	小計(4科目)	—	2	6	0	4	1	0	3	0	兼8
人文科学系	哲学への誘い	1前・後	2								兼1
	日本の文学	1前・後	2								兼2
	外国の文学	1後	2								兼1
	ジェンダーと文学	1前	2								兼1
	表現と創作	1前・後	2								兼2
	こんにちの文化	1前	2								兼1
	歴史学	1前	2								兼1
	日本の美術	1前	2								兼1
	西洋の美術	1後	2								兼1
	音楽の歴史	1後	2								兼1
	音楽の楽しみ	1前	2								兼1
	手書き文字の世界	1前・後	2								兼1
	漢字・かな文字の変遷	1前・後	2								兼2
小計(13科目)	—	0	26	0	0	0	0	0	0	0	兼12
社会科学系	日本国憲法	1前・後	2								兼1
	憲法と人権	1前・後	2								兼1
	国際関係入門	1前・後	2			1					兼1
	経済の仕組み	1前・後	2			1					兼1
	社会の仕組み	1前・後	2			1	1				兼1
	20世紀の日本	1前・後	2			1					兼1
	家族と社会	1前・後	2			1					兼1
	家族と福祉	1前・後	2								兼1
小計(8科目)	—	0	16	0	4	1	0	0	0	0	兼3
生活科学系	服装の科学	1前・後	2								兼1
	ファッションの文化	1前・後	2								兼1
	色彩の科学	1前・後	2								兼1
	健康と食生活	1前・後	2								兼2
	住まいとデザイン	1後	2								兼1
	社会福祉の展望	1後	2								兼1
	加齢と高齢者の科学	1前・後	2								兼1
	こどもと育児	1前・後	2								兼1
	化学	1前・後	2								兼1
	数理と発想	1後	2								兼1
	看護の知識	1前・後	2								兼6
小計(11科目)	—	0	22	0	0	0	0	0	0	0	兼15
人間科学系	社会貢献と実践	1前	2								兼2
	心理の科学	1前	2								兼2
	家族とジェンダー	1前・後	2								兼1
	人間の発達	1前・後	2								兼2
	生命の科学	1前・後	2								兼1
	現代の教育	1前・後	2								兼2
	文化遺産に学ぶ	1前・後	2								兼1
	生命と医療の倫理	1後	2								兼1
	女性と美容	1前	2								兼1
	健康の科学	1前・後	2								兼4
	スポーツ実習	1前・後	1								兼4
	フィットネス実習	1後	1								兼3
小計(12科目)	—	0	22	0	0	0	0	0	0	0	兼18
海外研修科目	海外語学研修	1前・後	2								兼1
	海外文化研修	1前・後	2								兼2
	小計(2科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	0
外国語科目	英語a	1前	1					1			兼2
	英語b	1前	1						1		兼3
	日本語a-I	1前	1								兼1
	日本語a-II	1後	1								兼1
	日本語b-I	1前	1								兼1
	日本語b-II	1後	1								兼1
小計(6科目)	—	2	4	0	0	0	1	1	0	0	兼6

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
和洋アビリティーズ科目	キャリアデザイン基礎ゼミ	1前・後	2								兼1
	パソコンの基礎と応用	1前	2			5			3		兼4
	ベーシックラーニング	1前・後	2								兼3
	小計(4科目)	—	2	6	0	5	0	0	3	0	0
人文科学系	哲学への誘い	1前・後	2								兼1
	日本の文学	1前・後	2								兼2
	外国の文学	1後	2								兼1
	ジェンダーと文学	1前	2								兼1
	表現と創作	1前・後	2								兼2
	こんにちの文化	1前	2								兼1
	歴史学	1前・後	2								兼1
	日本の美術	1前	2								兼1
	西洋の美術	1後	2								兼1
	音楽の歴史	1後	2								兼1
	音楽の楽しみ	1前	2								兼1
	手書き文字の世界	1前・後	2								兼1
	漢字・かな文字の変遷	1前・後	2								兼1
小計(13科目)	—	0	26	0	0	0	0	0	0	0	兼11
社会科学系	日本国憲法	1前・後	2								兼1
	憲法と人権	1前・後	2								兼1
	国際関係入門	1前・後	2			1					兼1
	経済の仕組み	1前・後	2			1					兼1
	社会の仕組み	1前・後	2			1					兼1
	20世紀の日本	1前	2			1					兼1
	家族と社会	1前	2			1					兼1
	家族と福祉	1前・後	2								兼1
小計(8科目)	—	0	16	0	4	0	0	0	0	0	兼3
生活科学系	服装の科学	1前・後	2								兼1
	ファッションの文化	1前・後	2								兼2
	色彩の科学	1前	2								兼1
	健康と食生活	1前・後	2								兼2
	住まいとデザイン	1後	2								兼1
	社会福祉の展望	1後	2								兼1
	加齢と高齢者の科学	1前・後	2								兼1
	こどもと育児	1前・後	2								兼2
	化学	1前・後	2								兼1
	数理と発想	1後	2								兼1
	看護の知識	1前・後	2								兼6
小計(11科目)	—	0	22	0	0	0	0	0	0	0	兼18
人間科学系	社会貢献と実践	1前	2								兼2
	心理の科学	1前	2								兼2
	家族とジェンダー	1前・後	2								兼2
	人間の発達	1前・後	2								兼2
	生命の科学	1前・後	2								兼1
	現代の教育	1前・後	2								兼2
	文化遺産に学ぶ	1前・後	2								兼2
	生命と医療の倫理	1後	2								兼1
	女性と美容	1前	2								兼1
	健康の科学	1前・後	2								兼4
	スポーツ実習	1前・後	1								兼4
	フィットネス実習	1後	1								兼3
小計(12科目)	—	0	22	0	0	0	0	0	0	0	兼19
海外研修科目	海外語学研修	1前・後	2						1		兼0
	海外文化研修	1後	2								兼0
	小計(2科目)	—	0	4	0	0	0	1	0	0	0
外国語科目	英語a	1前	1						1		兼2
	英語b	1前	1							1	兼2
	日本語a-I	1前	1								兼1
	日本語a-II	1後	1								兼1
	日本語b-I	1前	1								兼1
	日本語b-II	1後	1								兼1
小計(6科目)	—	2	4	0	0	0	0	1	1	0	兼5

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通科目	国際セミナー	1前	1			4	1	1	3			
	国際異文化理解論	1前	2									兼1
	英語演習a	1後	1				1	1				兼1
	英語演習b	1後	1			1			2			兼1
	実践中国語Ⅰ	1後		2								兼1
	実践中国語Ⅱ	2前		2								兼1
	実践韓国語Ⅰ	1後		2								兼1
	実践韓国語Ⅱ	2前		2								兼1
	実践フランス語Ⅰ	1後		2								兼1
	実践フランス語Ⅱ	2前		2								兼1
	実践スペイン語Ⅰ	1後		2								兼1
	実践スペイン語Ⅱ	2前		2								兼1
	国際社会文化の基礎（国際関係・交流論）	1前	2									兼1
	国際社会文化の基礎（現代社会）	1後	2									兼1
	国際社会文化の基礎（現代経済）	1前	2									兼1
国際社会文化の基礎（現代政治）	1後	2									兼1	
ことばと社会	3後	2									兼1	
ジェンダー&カルチュラルスタディーズ	3前	2						1				
海外セミナーA	2後		12						1			
海外セミナーB	2後・3前		24						1			
小計（20科目）	—	7	62	0	3	1	1	3	0		兼11	
専門基礎科目	異文化コミュニケーション論	1前	2						1			
	グローバルスタディーズ入門A	1前	2			2	1		1			
	グローバルスタディーズ入門B	1後	2			2			1			
	異文化交流と観光	1後	2						1			
	グローバル社会と文化A	2前	2				1					
	グローバル社会と文化B	2後	2			1						
	観光文化と地理	2後	2						1			
	人文学と観光	2後	2						1			
	観光文化と分析	2前	2			1						
	現代の文化人類学	2前	2						1			
小計（10科目）	—	14	6	0	4	1	0	2	0		兼0	
専門語学科目	専門実践英語Ⅰ-a	2前	2					1				兼1
	専門実践英語Ⅰ-b	2前	2						1			兼1
	専門実践英語Ⅱ-a	2後	2					1				兼1
	専門実践英語Ⅱ-b	2後	2						1			兼1
	ビジネス英語	2前	2						1			
	観光英語	2後	2									兼1
	英語で学ぶ日本文化	3前	2					1				兼1
	上級英語Ⅰ	3前	2					1				
	上級英語Ⅱ	3後	2					1				
	上級中国語	2後	2									兼1
	上級韓国語	2後	2									兼1
	上級フランス語	2後	2									兼1
	上級スペイン語	2後	2									兼1
小計（13科目）	—	10	16	0	0	0	1	1	0		兼8	
専門展開科目	多文化共生論	2前	2			1						
	国際化とアイデンティティ	2前	2				1					
	国際化と宗教文化	2後	2				1					
	国際文化交流史	2後	2						1			
	国際協力論	2後	2			1						
	グローバル消費文化論	2前	2						1			
	比較社会文化論	2後	2			1						
	比較政治文化論	2後	2			1						
	東アジア文化社会論	3前	2			1						
	東南アジア文化社会論	3前	2			1						
	ヨーロッパ文化社会論	3後	2				1					
	アメリカ文化社会論	3後	2						1			
	国際フィールドワーク	2後	2			4	1	1	3			
	国際化とホスピタリティ	2後	2						1			
	メディア文化	2前	2			1						
	観光文化論	2前	2				1					
	旅行と文学	2後	2									兼1
	国際関係論	3前	2			1						
	国際化と開発	2後	2			1						
	世界文化遺産	4前	2						1			
小計（20科目）	—	14	26	0	4	1	1	3	0		兼1	

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通科目	国際セミナー	1前	1			5	0	1	3			
	国際異文化理解論	1後	2						1			
	英語演習a	1後	1				0	1				兼2
	英語演習b	1後	1				0		1			兼3
	実践中国語Ⅰ	1後		2								兼1
	実践中国語Ⅱ	2前		2								兼1
	実践韓国語Ⅰ	1後		2								兼1
	実践韓国語Ⅱ	2前		2								兼1
	実践フランス語Ⅰ	1後		2								兼1
	実践フランス語Ⅱ	2前		2								兼1
	実践スペイン語Ⅰ	1後		2								兼1
	実践スペイン語Ⅱ	2前		2								兼1
	国際社会文化の基礎（国際関係・交流論）	1前	2				1					兼0
	国際社会文化の基礎（現代社会）	1後	2				1					兼0
	国際社会文化の基礎（現代経済）	1前	2				1					兼0
国際社会文化の基礎（現代政治）	1後	2				1					兼0	
ことばと社会	3後	2							1		兼0	
ジェンダー&カルチュラルスタディーズ	3前	2							0		兼1	
海外セミナーA	2後		12						0		兼1	
海外セミナーB	2後・3前		24						0		兼1	
小計（20科目）	—	7	62	0	5	0	1	3	0		兼11	
専門基礎科目	異文化コミュニケーション論	1前	2						1			
	グローバルスタディーズ入門A	1前	2				3	0		1		
	グローバルスタディーズ入門B	1後	2				2			1		
	異文化交流と観光	1後	2							1		
	グローバル社会と文化A	2前	2				1	0				
	グローバル社会と文化B	2後	2			1						
	観光文化と地理	2後	2							1		
	人文学と観光	2後	2							1		
	観光文化と分析	2前	2					1				
	現代の文化人類学	2前	2							1		
小計（10科目）	—	14	6	0	5	0	0	2	0		兼0	
専門語学科目	専門実践英語Ⅰ-a	2前	2						1			兼1
	専門実践英語Ⅰ-b	2前	2							1		兼1
	専門実践英語Ⅱ-a	2後	2						1			兼1
	専門実践英語Ⅱ-b	2後	2							1		兼1
	ビジネス英語	2前	2							1		
	観光英語	2後	2									兼1
	英語で学ぶ日本文化	3前	2						1			兼1
	上級英語Ⅰ	3前	2						1			
	上級英語Ⅱ	3後	2						1			
	上級中国語	2後	2									兼1
	上級韓国語	2後	2									兼1
	上級フランス語	2後	2									兼1
	上級スペイン語	2後	2									兼1
小計（13科目）	—	10	16	0	0	0	1	1	0		兼8	
専門展開科目	多文化共生論	2前	2			1						
	国際化とアイデンティティ	2前	2				1	0				
	国際化と宗教文化	2後	2				1	0				
	国際文化交流史	2後	2							1		
	国際協力論	2後	2			1						
	グローバル消費文化論	2前	2							1		
	比較社会文化論	2後	2			1						
	比較政治文化論	2後	2			1						
	東アジア文化社会論	3前	2			1						
	東南アジア文化社会論	3前	2			1						
	ヨーロッパ文化社会論	3後	2				1	0				
	アメリカ文化社会論	3後	2							1		
	国際フィールドワーク	2後	2			5	0	1	3			
	国際化とホスピタリティ	2後	2							1		
	メディア文化	2前	2			1						
	観光文化論	2前	2			1	0					
	旅行と文学	2後	2									兼1
	国際関係論	3前	2			1						
	国際化と開発	2後	2			1						
	世界文化遺産	4前	2							1		
小計（20科目）	—	14	26	0	5	0	1	3	0		兼1	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門演習・実践科目	国際文化PBL I	1後	2						2		
	国際文化PBL II A	2前	2			4	1	1	3		
	国際文化PBL II B	2後	2			4	1	1	3		
	国際文化PBL III A	3前	2			4	1	1	3		
	国際文化PBL III B	3後	2			4	1	1	3		
	専門ゼミ I A	2前	2			4	1		1		
	専門ゼミ I B	2後	2			4	1		1		
	専門ゼミ II A	3前	2			4	1		2		
	専門ゼミ II B	3後	2			4	1		2		
	卒業研究	4通	4			4	1		2		
	小計 (10科目)	—	18	4	0	4	1	1	3	0	兼1
専門キャリア科目	国際社会文化特講A	2後		2					1		
	国際社会文化特講B	3前		2					1		
	小計 (2科目)	—	0	4	0	0	0	0	2	0	兼1
特設科目	ミクロ経済学	2後		2		1					
	財務会計	2前		2		1					
	マーケティング論	2後		2		1					
	観光特論	2前		2					1		
	小計 (4科目)	—	0	8	0	1	0	0	1	0	兼0
司書に関連する科目	生涯学習概論	2前・後			2						兼1
	図書館概論	1前			2						兼1
	図書館制度・経営論	2後			2						兼1
	図書館情報技術論	2前			2						兼1
	図書館サービス概論	1後			2						兼1
	児童サービス論	2後			2						兼1
	情報サービス論	2後			2						兼1
	情報サービス演習A	2前			1						兼1
	情報サービス演習B	2後			1						兼1
	図書館情報資源概論	1後			2						兼1
	情報資源組織論	2後			2						兼1
	情報資源組織演習A	3前			1						兼1
	情報資源組織演習B	3後			1						兼1
	学校経営と学校図書館	2前			2						兼1
	読書と豊かな人間性	2前			2						兼1
	図書館情報資源特論	2前			2						兼1
	図書館総合演習	3前			1						兼1
	図書館実習	3前			1						兼1
小計 (18科目)	—	0	0	30	0	0	0	0	0	兼6	
博物館学芸員に関連する科目	博物館概論	2前			2						兼1
	博物館経営論	2後			2						兼1
	博物館情報・メディア論	2後			2						兼1
	生涯学習概論	2前・後			2						兼1
	博物館資料論	3前			2						兼1
	博物館展示論	3前			2						兼1
	博物館教育論	3後			2						兼1
	博物館資料保存論	4前			2						兼1
	博物館実習 I	4前			1						兼1
	博物館実習 II (館務実習)	4後			2						兼1
	美術史 I	1前			2						兼1
	美術史 II	1後			2						兼1
	古代学 I	2前			2						兼1
	古代学 II	2後			2						兼1
民俗学 I	3前			2						兼1	
民俗学 II	3後			2						兼1	
小計 (16科目)	—	0	0	31	0	0	0	0	0	兼7	
合計 (169科目)	—	67	226	61	4	1	1	3	0	兼77	

卒業要件及び履修方法

卒業要件には124単位以上の修得が必要である。全学に共通に開設される共通総合科目は24単位以上、学科において開設される専門教育科目は90単位以上で充たすこととする。学部には2つの学科が置かれるが、学生は在籍する学科の専門教育科目の履修を進め、当該学科の履修規程に従って卒業に必要とされる単位の修得を進める。

【国際学科】

専門教育科目は、「学部共通科目」14単位以上、「専門基礎科目」14単位以上、「専門語学科目」14単位以上、「専門展開科目」16単位以上、「専門演習・実践科目」18単位以上、「専門キャリア科目」2単位以上、「特設科目」2単位以上を修得すること。なお、卒業要件単位数の中に英語コミュニケーション学科開設科目から取得した単位を6単位まで含めることができることとする。年間の履修単位数の登録の上限は、46単位とする。

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
専門演習・実践科目	国際文化PBL I	1後	2						2		
	国際文化PBL II A	2前	2			5	0	1	3		
	国際文化PBL II B	2後	2			5	0	1	3		
	国際文化PBL III A	3前	2			5	0	1	3		
	国際文化PBL III B	3後	2			5	0	1	3		
	専門ゼミ I A	2前	2			5	0		1		
	専門ゼミ I B	2後	2			5	0		1		
	専門ゼミ II A	3前	2			5	0		2		
	専門ゼミ II B	3後	2			5	0		2		
	卒業研究	4通	4			5	0		2		
	小計 (10科目)	—	18	4	0	5	0	1	3	0	兼0
専門キャリア科目	国際社会文化特講A	2後		2					1		
	国際社会文化特講B	3前		2					1		
	小計 (2科目)	—	0	4	0	0	0	0	2	0	兼0
特設科目	ミクロ経済学	2後		2		1					
	財務会計	2前		2		1					
	マーケティング論	2後		2		1					
	観光特論	2前		2					1		
	小計 (4科目)	—	0	8	0	1	0	0	1	0	兼0
司書に関連する科目	生涯学習概論	2前・後			2						兼1
	図書館概論	1前			2						兼1
	図書館制度・経営論	2後			2						兼1
	図書館情報技術論	2前			2						兼1
	図書館サービス概論	1後			2						兼1
	児童サービス論	2後			2						兼1
	情報サービス論	2後			2						兼1
	情報サービス演習A	2前			1						兼1
	情報サービス演習B	2後			1						兼1
	図書館情報資源概論	1後			2						兼1
	情報資源組織論	2後			2						兼1
	情報資源組織演習A	3前			1						兼1
	情報資源組織演習B	3後			1						兼1
	学校経営と学校図書館	2前			2						兼1
	読書と豊かな人間性	2前			2						兼1
	図書館情報資源特論	2前			2						兼1
	図書館総合演習	3前			1						兼1
	図書館実習	3前			1						兼1
小計 (18科目)	—	0	0	30	0	0	0	0	0	兼6	
博物館学芸員に関連する科目	博物館概論	2前			2						兼1
	博物館経営論	2後			2						兼1
	博物館情報・メディア論	2後			2						兼1
	生涯学習概論	2前・後			2						兼1
	博物館資料論	3前			2						兼1
	博物館展示論	3前			2						兼1
	博物館教育論	3後			2						兼1
	博物館資料保存論	4前			2						兼1
	博物館実習 I	4前			1						兼1
	博物館実習 II (館務実習)	4後			2						兼1
	美術史 I	1前			2						兼1
	美術史 II	1後			2						兼1
	古代学 I	2前			2						兼1
	古代学 II	2後			2						兼1
民俗学 I	3前			2						兼1	
民俗学 II	3後			2						兼1	
小計 (16科目)	—	0	0	31	0	0	0	0	0	兼7	
合計 (169科目)	—	67	226	61	5	0	1	3	0	兼81	

卒業要件及び履修方法

卒業要件には124単位以上の修得が必要である。全学に共通に開設される共通総合科目は24単位以上、学科において開設される専門教育科目は90単位以上で充たすこととする。学部には2つの学科が置かれるが、学生は在籍する学科の専門教育科目の履修を進め、当該学科の履修規程に従って卒業に必要とされる単位の修得を進める。

【国際学科】

専門教育科目は、「学部共通科目」14単位以上、「専門基礎科目」14単位以上、「専門語学科目」14単位以上、「専門展開科目」16単位以上、「専門演習・実践科目」18単位以上、「専門キャリア科目」2単位以上、「特設科目」2単位以上を修得すること。なお、卒業要件単位数の中に英語コミュニケーション学科開設科目から取得した単位を6単位まで含めることができることとする。年間の履修単位数の登録の上限は、46単位とする。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

<ul style="list-style-type: none"> ・ 兼任教員退職により、「キャリアデザイン」の兼任・兼担教員配置を「2」から「1」に変更。 ・ 専任教員の昇任により、「基礎ゼミ」の専任教員配置を「准教授1」から「准教授0」、「教授4」から「教授5」に変更。 ・ 兼担教員の科目調整により、「ベーシックラーニング」の兼任・兼担教員配置を「2」から「3」に変更。 ・ 時間割調整により、「歴史学」の配当年次を「1前」から「1前・後」に変更。 ・ 兼任教員の科目調整により、「漢字・かな文字の変遷」の兼任・兼担教員配置を「2」から「1」に変更。 ・ 専任教員の科目調整により、「経済の仕組み」の専任教員配置を「教授1」から「教授0」に変更 ・ 専任教員の役職者コマ数減、専任教員の昇任により、「社会の仕組み」の専任教員配置を「教授2」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。 ・ 専任教員の役職者コマ数減により、「20世紀の日本」の配当年次を「1前・後」から「1前」へ変更。 ・ 専任教員の役職者コマ数減により、「家族と社会」の配当年次を「1前・後」から「1前」に変更。 ・ 兼担教員の科目調整により、「ファッションの文化」の兼任・兼担教員配置を「1」から「2」に変更。 ・ 時間割調整により、「色彩の科学」の配当年次を「1前・後」から「1前」に変更。 ・ 兼担教員退職により、授業調整ができなくなったため「社会貢献と実践」を休講することにより、兼任・兼担教員配置を「2」から「0」に変更。 ・ 兼担教員の科目調整により、「家族とジェンダー」の兼任・兼担教員配置を「1」から「2」に変更。 ・ コロナ感染拡大防止のため、「現代の教育」の配当年次を「1前・後」から「1後」に変更。 ・ 兼担教員の科目調整により、「文化遺産に学ぶ」の兼任・兼担教員配置を「1」から「2」に変更。 ・ コロナ感染拡大防止のため、「海外語学研修」の配当年次を「1前・後」から「1後」に変更、教員配置等を「兼1」から「講師1」に変更。 ・ コロナ感染拡大防止のため、「海外文化研修」を休講することにより、兼任・兼担教員配置を「2」から「0」に変更。 ・ 兼担教員の科目調整により、「英語b」の兼任・兼担教員配置を「3」から「2」に変更。 ・ 専任教員(准教授)教授昇任により、「国際セミナー」の教員配置を「教授4」から「教授5」、「准教授1」から「助教0」に変更。 ・ コロナ感染拡大防止のため、「国際異文化理解論」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。 ・ 専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「英語演習a」の教員配置を「准教授1」から「准教授0」、「兼1」から「兼2」に変更。 ・ 専任教員の就任辞退及び専任教員就任により、「英語演習b」の教員配置を「教授1」から「教授0」、「助教2」から「助教1」、「兼1」から「兼3」に変更。 ・ 専任教員(准教授)教授昇任により、「グローバルスタディーズ入門A」の教員配置を「教授2」から「教授3」、「准教授1」から「准教授0」に変更。 ・ 専任教員(准教授)教授昇任により、「グローバル社会と文化A」の教員配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。 ・ 専任教員(准教授)教授昇任により、「国際化とアイデンティティ」の教員配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。 ・ 専任教員(准教授)教授昇任により、「国際化と宗教文化」の教員配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。 ・ 専任教員(准教授)教授昇任により、「ヨーロッパ文化社会論」の教員配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。 ・ 専任教員(准教授)教授昇任により、「国際フィールドワーク」の教員配置を「教授4」から「教授5」、「准教授1」から「准教授0」に変更。 ・ 専任教員(准教授)教授昇任により、「観光文化論」の教員配置を「教授4」から「教授5」、「准教授1」から「准教授0」に変更。 ・ 専任教員(准教授)教授昇任により、「国際文化PBLⅡA」の教員配置を「教授4」から「教授5」、「准教授1」から「准教授0」に変更。 ・ 専任教員(准教授)教授昇任により、「国際文化PBLⅡB」の教員配置を「教授4」から「教授5」、「准教授1」から「准教授0」に変更。 ・ 専任教員(准教授)教授昇任により、「国際文化PBLⅢA」の教員配置を「教授4」から「教授5」、「准教授1」から「准教授0」に変更。 ・ 専任教員(准教授)教授昇任により、「国際文化PBLⅢB」の教員配置を「教授4」から「教授5」、「准教授1」から「准教授0」に変更。 ・ 専任教員(准教授)教授昇任により、「専門ゼミⅠA」の教員配置を「教授4」から「教授5」、「准教授1」から「准教授0」に変更。 ・ 専任教員(准教授)教授昇任により、「専門ゼミⅠB」の教員配置を「教授4」から「教授5」、「准教授1」から「准教授0」に変更。 ・ 専任教員(准教授)教授昇任により、「専門ゼミⅡA」の教員配置を「教授4」から「教授5」、「准教授1」から「准教授0」に変更。 ・ 専任教員(准教授)教授昇任により、「専門ゼミⅡB」の教員配置を「教授4」から「教授5」、「准教授1」から「准教授0」に変更。 ・ 専任教員(准教授)教授昇任により、「卒業研究」の教員配置を「教授4」から「教授5」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
--

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
35 科目	100 科目	34 科目	169 科目	35 科目 []	100 科目 []	34 科目 []	169 科目 []	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	社会貢献と実践	2	1前	一般	選択	兼任教員退職により授業調整ができなくなったため。代替措置としては、退職した教員の人事を進め当科目の配当年次が1年から4年となっていることから来年度開講できるように準備を進める。
2	海外文化研修	2	1前・後	一般	選択	コロナ感染拡大防止のため。代替措置としては、海外渡航の科目であるためコロナ感染の状況をみながら来年度の開講準備を進める。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講となった科目は共通総合科目のため1~4年生まで履修が可能となっており、次年度以降に開講し履修の機会を提供する。学生に対しては、教育支援システムや連絡システムを使い時間割修正を周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{169} = \boxed{1.18}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	和洋国府台女子中学・高等学校(必要面積18,193㎡)と共用(収容定員：680人、高等学校1,070人)			
	校舎敷地	9,938 ㎡	34,404 ㎡	4,711 ㎡	49,053 ㎡				
	運動場用地	80,548 ㎡	11,509 ㎡	5,170 ㎡	97,227 ㎡				
	小 計	90,486 ㎡	45,913 ㎡	9,881 ㎡	146,280 ㎡				
	そ の 他	0 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	0 ㎡				
合 計	90,486 ㎡	45,913 ㎡	9,881 ㎡	146,280 ㎡					
(2) 校舎	専 用	50,544㎡ (50,544㎡)	2,757㎡ (2,757㎡)	1,564㎡ (1,564㎡)	54,865㎡ (54,865㎡)	和洋国府台女子中学・高等学校(必要面積18,193㎡)と共用(収容定員：680人、高等学校1,070人)			
	共用								
(3) 教室等	講義室	43 室	演習室	27 室	実験実習室	36 室	大学全体		
	情報処理学習施設	6 室 (補助職員 0 人)	語学学習施設	0 室 (補助職員 0 人)					
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	国際学部 国際学科			9 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書・視聴覚は再精査の結果、修正した。(2)	
	国際学部 国際学科	14,685 [1,105] 14,662 [1,154] (14,685 [1,105]) (14,662 [1,154])	44 [26] (44 [26])	1 [0] (1 [0])	407 403 (407) (403)	0 (0)	0 (0)		
	計	14,685 [1,105] 14,662 [1,154] (14,685 [1,105]) (14,662 [1,154])	44 [26] (44 [26])	1 [0] (1 [0])	407 403 (407) (403)	0 (0)	0 (0)		
(6) 図書館	面 積	閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数					
	3,673㎡	400		321,224 278,611					
(7) 体育館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	6,005㎡	-							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費については、再精査の結果、修正した。なお図書購入費には電子ジャーナル、データベース購入費を含む。(2) 共同研究費等：研究費の算出方法変更(2)
		教員 1 人当り研究費等	250千円	250千円	図書購入費	1,400千円 2,144千円	1,400千円 2,144千円	1,400千円 2,144千円	
	共同研究費等	1,150千円 1,031千円	1,150千円 1,031千円	設備購入費	0千円	0千円	0千円		
	学生 1 人当り	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
	納付金	1,230千円	980千円	980千円	980千円	—千円	—千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、事業収入、雑収入 他							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第 2 号 (その 1 の 1) に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は AC 対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和 2 年 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称		和洋女子大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人文学部	4	240	—	1362	—	1.05	1.05	—	平成20	—	
国際学科	4	—	—	—	学士(文学)(教養)	—	—	—	平成26	千葉県市川市国府台2-3-1	令和2年学生募集停止
日本文学文化学科	4	110	—	446	学士(文学)	1.09	1.04	—	平成20	同上	
心理学科	4	60	—	265	学士(心理学)	1.05	1.13	—	平成26	同上	
こども発達学科	4	70	—	285	学士(教育学)	1.03	0.98	—	平成26	同上	
国際学部	4	120	—	120	—	1.10	1.10	—	令和2	—	
英語コミュニケーション学科	4	60	—	60	学士(英語コミュニケーション)	1.08	1.08	—	令和2	同上	
国際学科	4	60	—	60	学士(国際)	1.13	1.13	—	令和2	同上	
家政学部	4	290	—	1155	—	1.00	1.09	—	平成20	—	
服飾造形学科	4	60	—	285	学士(家政学)	0.99	1.28	—	平成20	同上	
健康栄養学科	4	120	—	485	学士(家政学)	1.09	1.04	—	平成20	同上	
家政福祉学科	4	110	—	385	学士(家政学)	0.92	1.04	—	平成20	同上	
看護学部	4	100	—	300	—	1.09	0.93	—	平成30	—	
看護学科	4	100	—	300	学士(看護学)	1.09	0.93	—	平成30	千葉県市川市国府台2-1-18	
大学全体	4	750	—	2937	—	1.03	1.06	—	—	—	
大学の名称		和洋女子大学大学院									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				
人文科学研究科	2	10	—	20	—	0.10	0.20	—	平成14	—	
英語文学専攻修士課程	2	5	—	10	修士(文学)	0.00	0.00	—	平成14	千葉県市川市国府台2-3-1	
日本文学専攻修士課程	2	5	—	10	修士(文学)	0.20	0.40	—	平成14	同上	
総合生活研究科	—	11	—	33	—	0.63	1.00	—	平成14	—	
総合生活専攻博士前期課程	2	8	—	16	修士(家政学)	0.62	1.00	—	平成14	同上	
総合生活専攻博士後期課程	3	3	—	9	博士(家政学または学術)	0.88	1.00	—	平成21	同上	
大学院 計	—	21	—	63	—	0.37	0.61	—	—	—	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<国際学部 国際学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【令和2年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専任	教授	李(里正) 明伍 <令和2年4月>	専任	教授	里正 明伍 <令和2年4月>
		基礎ゼミ 社会の仕組み 家族と社会 国際セミナー 国際社会文化の基礎(現代社会) グローバルスタディーズ入門B※ 比較社会文化論 東アジア文化社会論 国際フィールドワーク メディア文化 国際文化PBL II A 国際文化PBL II B 国際文化PBL III A 国際文化PBL III B 専門ゼミ I A 専門ゼミ I B 専門ゼミ II A 専門ゼミ II B 卒業研究			基礎ゼミ 家族と社会 国際セミナー 国際社会文化の基礎(現代社会) グローバルスタディーズ入門B※ 比較社会文化論 東アジア文化社会論 国際フィールドワーク メディア文化 国際文化PBL II A 国際文化PBL II B 国際文化PBL III A 国際文化PBL III B 専門ゼミ I A 専門ゼミ I B 専門ゼミ II A 専門ゼミ II B 卒業研究
専任	教授	藤丸 麻紀 <令和2年4月>	専任	教授	藤丸 麻紀 <令和2年4月>
		基礎ゼミ 経済の仕組み 国際セミナー 国際社会文化の基礎(現代経済) グローバルスタディーズ入門A※ 観光文化と分析 国際フィールドワーク 国際文化PBL II A 国際文化PBL II B 国際文化PBL III A 国際文化PBL III B 専門ゼミ I A 専門ゼミ I B 専門ゼミ II A 専門ゼミ II B 卒業研究 ミクロ経済学 財務会計 マーケティング論			基礎ゼミ 国際セミナー 国際社会文化の基礎(現代経済) グローバルスタディーズ入門A※ 観光文化と分析 国際フィールドワーク 国際文化PBL II A 国際文化PBL II B 国際文化PBL III A 国際文化PBL III B 専門ゼミ I A 専門ゼミ I B 専門ゼミ II A 専門ゼミ II B 卒業研究 ミクロ経済学 財務会計 マーケティング論
専任	教授	金丸 裕志 <令和2年4月>	専任	教授	金丸 裕志 <令和2年4月>
		基礎ゼミ 20世紀の日本 国際セミナー 国際社会文化の基礎(現代政治) グローバルスタディーズ入門B※ 多文化共生論 比較政治文化論 東南アジア文化社会論 国際フィールドワーク 国際化と開発 国際文化PBL II A 国際文化PBL II B 国際文化PBL III A 国際文化PBL III B 専門ゼミ I A 専門ゼミ I B 専門ゼミ II A 専門ゼミ II B 卒業研究			基礎ゼミ 20世紀の日本 国際セミナー 国際社会文化の基礎(現代政治) グローバルスタディーズ入門B※ 多文化共生論 比較政治文化論 東南アジア文化社会論 国際フィールドワーク 国際化と開発 国際文化PBL II A 国際文化PBL II B 国際文化PBL III A 国際文化PBL III B 専門ゼミ I A 専門ゼミ I B 専門ゼミ II A 専門ゼミ II B 卒業研究
専任	教授	杉浦 功一 <令和2年4月>	専任	教授	杉浦 功一 <令和2年4月>
		基礎ゼミ 国際関係入門 国際セミナー 国際社会文化の基礎(国際関係・交流論) グローバルスタディーズ入門A※ グローバル社会と文化B 国際協力論 国際フィールドワーク 国際関係論 国際文化PBL II A 国際文化PBL II B 国際文化PBL III A 国際文化PBL III B 専門ゼミ I A 専門ゼミ I B 専門ゼミ II A 専門ゼミ II B 卒業研究			基礎ゼミ 国際関係入門 国際セミナー 国際社会文化の基礎(国際関係・交流論) グローバルスタディーズ入門A※ グローバル社会と文化B 国際協力論 国際フィールドワーク 国際関係論 国際文化PBL II A 国際文化PBL II B 国際文化PBL III A 国際文化PBL III B 専門ゼミ I A 専門ゼミ I B 専門ゼミ II A 専門ゼミ II B 卒業研究
専任	准教授	秦泉寺(飯島) 友紀 <令和2年4月>	専任	教授	秦泉寺(飯島) 友紀 <令和2年4月>
		基礎ゼミ 社会の仕組み 国際セミナー グローバルスタディーズ入門A※ グローバル社会と文化A 国際化とアイデンティティ 国際化と宗教文化 ヨーロッパ文化社会論 国際フィールドワーク 観光文化論 国際文化PBL II A 国際文化PBL II B 国際文化PBL III A 国際文化PBL III B 専門ゼミ I A 専門ゼミ I B 専門ゼミ II A 専門ゼミ II B 卒業研究			基礎ゼミ 社会の仕組み 国際セミナー グローバルスタディーズ入門A※ グローバル社会と文化A 国際化とアイデンティティ 国際化と宗教文化 ヨーロッパ文化社会論 国際フィールドワーク 観光文化論 国際文化PBL II A 国際文化PBL II B 国際文化PBL III A 国際文化PBL III B 専門ゼミ I A 専門ゼミ I B 専門ゼミ II A 専門ゼミ II B 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専任	講師	Langley Dara Francis <令和2年4月>	専任	講師	Langley Dara Francis <令和2年4月>
		英語a 国際セミナー 英語演習a 専門実践英語 I-a 専門実践英語 II-a 英語で学ぶ日本文化 上級英語 I 上級英語 II 国際フィールドワーク 国際文化PBL II A 国際文化PBL II B 国際文化PBL III A 国際文化PBL III B			海外語学研修 英語a 国際セミナー 英語演習a 専門実践英語 I-a 専門実践英語 II-a 英語で学ぶ日本文化 上級英語 I 上級英語 II 国際フィールドワーク 国際文化PBL II A 国際文化PBL II B 国際文化PBL III A 国際文化PBL III B
専任	助教	板垣 武尊 <令和2年4月>	専任	助教	板垣 武尊 <令和2年4月>
		基礎ゼミ 国際セミナー 国際異文化理解論 グローバルスタディーズ入門B※ 異文化交流と観光 観光文化と地理 国際フィールドワーク 国際文化PBL I 国際文化PBL II A 国際文化PBL II B 国際文化PBL III A 国際文化PBL III B 専門ゼミ I A 専門ゼミ I B 専門ゼミ II A 専門ゼミ II B 卒業研究 国際社会文化特講B 観光特論			基礎ゼミ 国際セミナー 国際異文化理解論 グローバルスタディーズ入門B※ 異文化交流と観光 観光文化と地理 国際フィールドワーク 国際文化PBL I 国際文化PBL II A 国際文化PBL II B 国際文化PBL III A 国際文化PBL III B 専門ゼミ I A 専門ゼミ I B 専門ゼミ II A 専門ゼミ II B 卒業研究 国際社会文化特講B 観光特論
専任	助教	内田 翔大 <令和2年4月>	専任	助教	内田 翔大 <令和2年4月>
		基礎ゼミ 英語b 国際セミナー 英語演習b ことばと社会 専門実践英語 I-b 専門実践英語 II-b ビジネス英語 アメリカ文化社会論 国際フィールドワーク 国際文化PBL II A 国際文化PBL II B 国際文化PBL III A 国際文化PBL III B			基礎ゼミ 英語b 国際セミナー 英語演習b ことばと社会 専門実践英語 I-b 専門実践英語 II-b ビジネス英語 アメリカ文化社会論 国際フィールドワーク 国際文化PBL II A 国際文化PBL II B 国際文化PBL III A 国際文化PBL III B
専任	助教	山崎 真之 <平成32年4月>	専任	助教	山崎 真之 <平成32年4月>
		基礎ゼミ 国際セミナー 異文化コミュニケーション論 グローバルスタディーズ入門A※ 人文学と観光 現代の文化人類学 国際文化交流史 グローバル消費文化論 国際フィールドワーク 国際化とホスピタリティ 世界文化遺産 国際文化PBL I 国際文化PBL II A 国際文化PBL II B 国際文化PBL III A 国際文化PBL III B 専門ゼミ II A 専門ゼミ II B 卒業研究 国際社会文化特講A			基礎ゼミ 国際セミナー 異文化コミュニケーション論 グローバルスタディーズ入門A※ 人文学と観光 現代の文化人類学 国際文化交流史 グローバル消費文化論 国際フィールドワーク 国際化とホスピタリティ 世界文化遺産 国際文化PBL I 国際文化PBL II A 国際文化PBL II B 国際文化PBL III A 国際文化PBL III B 専門ゼミ II A 専門ゼミ II B 卒業研究 国際社会文化特講A
兼任	教授	小沢 哲史 <令和2年4月>	兼任	教授	小沢 哲史 <令和2年4月>
		人間の発達			人間の発達
兼任	教授	鬘谷 要 <令和2年4月>	兼任	教授	鬘谷 要 <令和2年4月>
		パソコンの基礎と応用 色彩の科学 化学 数理と発想			パソコンの基礎と応用 色彩の科学 化学 数理と発想
兼任	教授	加藤 紫識 <令和2年4月>	兼任	准教授	加藤 紫識 <令和2年4月>
		文化遺産に学ぶ 博物館概論 博物館情報・メディア論 博物館教育論 博物館資料保存論 博物館実習 I 博物館実習 II (館務実習)			文化遺産に学ぶ 博物館概論 博物館情報・メディア論 博物館教育論 博物館資料保存論 博物館実習 I 博物館実習 II (館務実習)
兼任	教授	金子 健彦 <令和2年4月>	兼任	教授	金子 健彦 <令和2年4月>
		女性と美容			女性と美容

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	河内山 有佐 <令和2年4月>	兼任	教授	河内山 有佐 <令和2年4月>
		海外語学研修			英語演習b
兼任	教授	小林 勉 <令和2年4月>	兼任	教授	小林 勉 <令和2年4月>
		住まいとデザイン			住まいとデザイン
兼任	教授	庄司 妃佐 <令和2年4月>			
		加齢と高齢者の科学			
兼任	教授	白鳥 孝子 <令和2年4月>	兼任	教授	白鳥 孝子 <令和2年4月>
		看護の知識※			看護の知識※
兼任	教授	新谷 奈苗 <令和2年4月>	兼任	教授	新谷 奈苗 <令和2年4月>
		看護の知識※			看護の知識※
兼任	教授	鈴木 葉子 <令和2年4月>	兼任	教授	鈴木 葉子 <令和2年4月>
		生命と医療の倫理			生命と医療の倫理
兼任	教授	刀根 洋子 <令和2年4月>	兼任	教授	刀根 洋子 <令和2年4月>
		看護の知識※			看護の知識※
兼任	教授	中垣 紀子 <令和2年4月>	兼任	教授	中垣 紀子 <令和2年4月>
		看護の知識※			看護の知識※
兼任	教授	中澤 明美 <令和2年4月>	兼任	教授	中澤 明美 <令和2年4月>
		看護の知識※			看護の知識※
兼任	教授	中村 威久水 <令和2年4月>	兼任	教授	中村 威久水 <令和2年4月>
		日本の美術 西洋の美術			日本の美術 西洋の美術
兼任	教授	拝田 清 <令和2年4月>	兼任	教授	拝田 清 <令和2年4月>
		英語b 英語演習b			英語b
兼任	教授	菱田 隆昭 <令和2年4月>	兼任	教授	菱田 隆昭 <令和2年4月>
		現代の教育			現代の教育
兼任	教授	古畑 公 <令和2年4月>	兼任	教授	古畑 公 <令和2年4月>
		健康と食生活			健康と食生活
兼任	教授	湊 久美子 <令和2年4月>	兼任	教授	湊 久美子 <令和2年4月>
		社会貢献と実践 健康の科学 スポーツ実習 フィットネス実習			健康の科学 スポーツ実習 フィットネス実習
兼任	教授	矢萩 恭子 <令和2年4月>			
		こどもと育児			
兼任	教授	山下 景秋 <令和2年4月>	兼任	教授	山下 景秋 <令和2年4月>
		経済の仕組み			経済の仕組み

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼担	教授	吉田 昭 <令和2年4月>	兼担	教授	吉田 昭 <令和2年4月>
		図書館概論 図書館制度・経営論 図書館情報資源概論 情報資源組織論 情報資源組織演習A 情報資源組織演習B 学校経営と学校図書館 図書館情報資源特論 図書館総合演習 図書館実習			図書館概論 図書館制度・経営論 図書館情報資源概論 情報資源組織論 情報資源組織演習A 情報資源組織演習B 学校経営と学校図書館 図書館情報資源特論 図書館総合演習 図書館実習
兼担	准教授	岡本 秀明 <令和2年4月>	兼担	准教授	岡本 秀明 <令和2年4月>
		家族と福祉			家族と福祉
兼担	准教授	金井 智恵子 <令和2年4月>	兼担	准教授	金井 智恵子 <令和2年4月>
		人間の発達			人間の発達
兼担	准教授	木村 尚志 <令和2年4月>	兼担	准教授	木村 尚志 <令和2年4月>
		日本の文学 表現と創作 海外文化研修			日本の文学 表現と創作
兼担	准教授	黒田 誠 <令和2年4月>	兼担	准教授	黒田 誠 <令和2年4月>
		こんにちの文化			こんにちの文化
兼担	准教授	佐藤 淳一 <令和2年4月>	兼担	准教授	佐藤 淳一 <令和2年4月>
		表現と創作			ベーシックラーニング 表現と創作
兼担	准教授	清水 冬樹 <令和2年4月>			
		社会福祉の展望 社会貢献と実践			
兼担	准教授	多賀 昌樹 <令和2年4月>	兼担	准教授	多賀 昌樹 <令和2年4月>
		健康と食生活			健康と食生活
兼担	准教授	寺島 瞳 <令和2年4月>	兼担	准教授	寺島 瞳 <令和2年4月>
		心理の科学			心理の科学
兼担	准教授	Benjamin Olah <令和2年4月>	兼担	准教授	Benjamin Olah <令和2年4月>
		英語a 英語演習a 専門実践英語 I-a 専門実践英語 II-a			英語a 英語演習a 専門実践英語 I-a 専門実践英語 II-a
兼担	准教授	山本 高美 <令和2年4月>	兼担	准教授	山本 高美 <令和2年4月>
		パソコンの基礎と応用 服装の科学			パソコンの基礎と応用 服装の科学
兼担	准教授	弓削田 綾乃 <令和2年4月>	兼担	准教授	弓削田 綾乃 <令和2年4月>
		健康の科学 スポーツ実習 フィットネス実習			健康の科学 スポーツ実習 フィットネス実習
兼担	講師	永岡 裕康 <令和2年4月>	兼担	講師	永岡 裕康 <令和2年4月>
		パソコンの基礎と応用			パソコンの基礎と応用
兼担	講師	Brett James Davies <令和2年4月>			
		英語a 英語演習a 英語で学ぶ日本文化			
兼担	助教	井上 博之 <令和2年4月>			
		英語b 英語演習b 海外セミナーA			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	助教	梅山 聡 <令和2年4月>	兼任	准教授	梅山 聡 <令和2年4月>
		日本の文学			日本の文学
兼任	助教	大塚 千紗子 <令和2年4月>	兼任	助教	大塚 千紗子 <令和2年4月>
		ベーシックラーニング			ベーシックラーニング
兼任	助教	小野 真嗣 <令和2年4月>	兼任	助教	小野 真嗣 <令和2年4月>
		博物館資料論 古代学Ⅰ 古代学Ⅱ			文化遺産に学ぶ 博物館資料論 古代学Ⅰ 古代学Ⅱ
兼任	助教	織田 奈緒子 <令和2年4月>	兼任	助教	織田 奈緒子 <令和2年4月>
		ファッションの文化			ファッションの文化
兼任	助教	上村 明 <令和2年4月>	兼任	助教	上村 明 <令和2年4月>
		健康の科学 スポーツ実習			健康の科学 スポーツ実習
兼任	助教	桑原 里実 <令和2年4月>	兼任	助教	桑原 里実 <令和2年4月>
		看護の知識※			看護の知識※
兼任	助教	坪野 圭介 <令和2年4月>	兼任	助教	坪野 圭介 <令和2年4月>
		英語b 英語演習b 観光英語			英語b 英語演習b 観光英語
兼任	助教	中村 光絵 <令和2年4月>			
		現代の教育			
兼任	助教	永澤 貴昭 <令和2年4月>	兼任	助教	永澤 貴昭 <令和2年4月>
		健康の科学			健康の科学
兼任	助教	星野 文子 <令和2年4月>	兼任	准教授	星野 文子 <令和2年4月>
		外国の文学 ジェンダーと文学 ジェンダー&カルチュラルスタ ディーズ 海外セミナーB 旅行と文学			外国の文学 ジェンダーと文学 ジェンダー&カルチュラル スタディーズ 海外セミナーB 旅行と文学
			兼任	教授	佐藤 宏子 <令和2年4月>
					家族とジェンダー
			兼任	教授	田代 和美 <令和2年4月>
					こどもと育児
			兼任	教授	矢藤 誠慈郎 <令和2年4月>
					現代の教育
			兼任	准教授	小澤 京子 <令和2年4月>
					美術史Ⅰ 美術史Ⅱ
			兼任	准教授	長妻 由里子 <令和2年4月>
					米文学史基礎講義B 文化演習：映像文化b 論文作成ゼミ(2) 卒業論文指導演習 ライティング基礎演習 アカデミック・ライティング 英語b-II
			兼任	准教授	二宮 祐子 <令和2年4月>
					社会福祉の展望

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	准教授	森本 美紀 <令和2年4月> ファッションの文化
			兼任	助教	山本 貴恵 <令和2年4月> 英語a 英語演習a
兼任	講師	井口 崇 <令和2年4月>	兼任	講師	井口 崇 <令和2年4月>
		博物館経営論			博物館経営論
兼任	講師	石川 圭一 <令和2年4月>			
		漢字・かな文字の変遷			
兼任	講師	石橋 幸子 <令和2年4月>	兼任	講師	石橋 幸子 <令和2年4月>
		読書と豊かな人間性			読書と豊かな人間性
兼任	講師	市橋 明典 <令和2年4月>	兼任	講師	市橋 明典 <令和2年4月>
		実践フランス語 I 実践フランス語 II 上級フランス語			実践フランス語 I 実践フランス語 II 上級フランス語
兼任	講師	植田 幹男 <令和2年4月>	兼任	講師	植田 幹男 <令和2年4月>
		ベーシックラーニング			ベーシックラーニング
兼任	講師	宇佐美 かおる <令和2年4月>	兼任	講師	宇佐美 かおる <令和2年4月>
		フィットネス実習			フィットネス実習
兼任	講師	大久保 洋子 <令和2年4月>			
		実践中国語 I 実践中国語 II 上級中国語			
兼任	講師	大森 美佐 <令和2年4月>	兼任	講師	大森 美佐 <令和2年4月>
		家族とジェンダー			家族とジェンダー
兼任	講師	奥田 環 <令和2年4月>	兼任	講師	奥田 環 <令和2年4月>
		博物館展示論			博物館展示論
兼任	講師	鹿倉 壮史 <令和2年4月>	兼任	講師	鹿倉 壮史 <令和2年4月>
		漢字・かな文字の変遷			漢字・かな文字の変遷
兼任	講師	加藤 はるか <令和2年4月>	兼任	講師	加藤 はるか <令和2年4月>
		歴史学			歴史学
兼任	講師	加藤 将貴 <令和2年4月>	兼任	講師	加藤 将貴 <令和2年4月>
		パソコンの基礎と応用			パソコンの基礎と応用
兼任	講師	金塚 基 <令和2年4月>	兼任	講師	金塚 基 <令和2年4月>
		生涯学習概論			生涯学習概論
兼任	講師	川嶋 充 <令和2年4月>	兼任	講師	川嶋 充 <令和2年4月>
		手書き文字の世界			手書き文字の世界
兼任	講師	木野 景子 <令和2年4月>			
		日本語a-I 日本語a-II 日本語b-I 日本語b-II			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	金 順任 <令和2年4月>	兼任	講師	金 順任 <令和2年4月>
		実践韓国語 I 実践韓国語 II			実践韓国語 I 実践韓国語 II
兼任	講師	金 範洙 <令和2年4月>	兼任	講師	金 範洙 <令和2年4月>
		海外文化研修 上級韓国語			上級韓国語
兼任	講師	香山 綾子 <令和2年4月>	兼任	講師	香山 綾子 <令和2年4月>
		生命の科学			生命の科学
兼任	講師	小林 稔 <令和2年4月>	兼任	講師	小林 稔 <令和2年4月>
		民俗学 I 民俗学 II			民俗学 I 民俗学 II
兼任	講師	小室 敬幸 <令和2年4月>	兼任	講師	小室 敬幸 <令和2年4月>
		音楽の歴史 音楽の楽しみ			音楽の歴史 音楽の楽しみ
兼任	講師	齋藤 淑子 <令和2年4月>	兼任	講師	齋藤 淑子 <令和2年4月>
		児童サービス論			児童サービス論
兼任	講師	酒井 博美 <令和2年4月>	兼任	講師	酒井 博美 <令和2年4月>
		心理の科学			心理の科学
兼任	講師	坂本 成生 <令和2年4月>	兼任	講師	坂本 成生 <令和2年4月>
		図書館情報技術論 図書館サービス概論			図書館情報技術論 図書館サービス概論
兼任	講師	菅原 令子 <令和2年4月>	兼任	講師	菅原 令子 <令和2年4月>
		哲学への誘い			哲学への誘い
兼任	講師	高濱 愛 <令和2年4月>	兼任	講師	高濱 愛 <令和2年4月>
		専門実践英語 I-b 専門実践英語 II-b			専門実践英語 I-b 専門実践英語 II-b
兼任	講師	戸田 里和 <令和2年4月>			
		キャリアデザイン			
兼任	講師	奈良 玲子 <令和2年4月>	兼任	講師	奈良 玲子 <令和2年4月>
		キャリアデザイン			キャリアデザイン
兼任	講師	難波 秀行 <令和2年4月>	兼任	講師	難波 秀行 <令和2年4月>
		スポーツ実習			スポーツ実習
兼任	講師	新倉 慎右 <令和2年4月>			
		美術史 I 美術史 II			
兼任	講師	西巻 悦子 <令和2年4月>	兼任	講師	西巻 悦子 <令和2年4月>
		情報サービス論 情報サービス演習A 情報サービス演習B			情報サービス論 情報サービス演習A 情報サービス演習B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	日野 勝吾 <令和2年4月>	兼任	講師	日野 勝吾 <令和2年4月>
		日本国憲法 憲法と人権			日本国憲法 憲法と人権
兼任	講師	山浦 アンヘラ <令和2年4月>	兼任	講師	山浦 アンヘラ <令和2年4月>
		実践スペイン語 I 実践スペイン語 II 上級スペイン語			実践スペイン語 I 実践スペイン語 II 上級スペイン語
			兼任	教授	原子はるみ <令和2年4月>
					こどもと育児
			兼任	講師	倉八 順子 <令和2年4月>
					日本語a-I 日本語a-II 日本語b-I 日本語b-II
			兼任	講師	神戸 万知 <令和2年4月>
					英語演習b
			兼任	講師	蔡 娟 <令和2年4月>
					実践中国語 I 実践中国語 II 上級中国語
			兼任	講師	Brett James Davies <令和2年4月>
					英語で学ぶ日本文化
			兼任	講師	矢野 明宏 <令和2年4月>
					加齢と高齢者の科学

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、結めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

<ul style="list-style-type: none">・里正明伍（専任）教授、役職者コマ数減により「社会の仕組み」を削除。・藤丸麻紀（専任）教授、役職者コマ数減により「経済の仕組み」を削除。・秦泉寺（飯島）友紀（専任）の教授昇任により、職名を、准教授から教授に変更。・Langley Dara Francis（専任）講師、担当科目調整により「海外語学研修」を追加。・加藤紫織（兼任）の昇任により、職名を教授（特任）から准教授に変更。・河内山有佐（兼任）教授、コロナ感染拡大防止のため「海外語学研修」を削除。科目調整により「英語演習b」を追加。・庄司妃佐（兼任）教授、コロナ感染拡大防止のため「加齢と高齢者の科学」を削除。・坪田清教授（兼任）、担当科目調整により「英語演習b」を削除。・湊久美子（兼任）教授、兼任教員退職に伴う休講のため科目調整により「社会貢献と実践」を削除。・矢萩恭子（兼任）教授、担当科目調整により「こどもと育児」を削除。・木村尚志（兼任）准教授、コロナ感染拡大防止のため、「海外文化研修」を削除。・佐藤淳一（兼任）准教授、担当科目調整により「ベーシックラーニング」を追加。・清水冬樹（兼任）准教授、退職により削除。・井上博之（兼任）助教、退職により削除。・梅山聡（兼任）の昇任により、職名を助教から准教授に変更。・小野真嗣（兼任）助教、担当科目調整により「文化遺産に学ぶ」を追加。・中村光絵（兼任）助教、コロナ感染拡大防止のため「現代の教育」を削除。・星野文子（兼任）の昇任により、職名を、助教から准教授に変更。・長妻由里子（兼任）助教就任により、「海外セミナーA」「米文学史基礎講義B」「文化演習：映像文化b」「論文作成ゼミ(2)」「卒業論文指導演習」「ライティング基礎演習」「アカデミック・ライティング」「英語b-II」を追加。・佐藤宏子（兼任）教授、担当科目調整により「家族とジェンダー」を追加。・田代和美（兼任）教授就任により、「こどもと育児」を追加。・原子はるみ（兼任）教授就任により、「こどもと育児」を追加。・矢藤誠慈郎（兼任）教授就任により、「現代の教育」を追加。・小澤京子（兼任）准教授就任により「美術史I」、「美術史II」を追加。・二宮祐子（兼任）准教授就任により、「社会福祉の展望」を追加。 <ul style="list-style-type: none">・森本美紀（兼任）准教授就任により、「ファッションの文化」を追加。・山本貴恵（兼任）助教就任により、「英語a」「英語演習a」を追加。・Brett James Davies（兼任）講師就任辞退により、専任・兼任・兼任の別を「兼任」に変更。担当科目調整により「英語a」「英語演習a」を削除。・石川圭一（兼任）講師、担当科目調整により「漢字・かな文字の変遷」を削除。・大久保洋子（兼任）講師の就任辞退により、「実践中国語I」「実践中国語II」「上級中国語」を削除。・木野景子（兼任）講師、退職により削除。・金範洙（兼任）講師、コロナ感染拡大防止のため、「海外文化研修」を削除。・神戸万知（兼任）講師就任により「英語演習b」を追加。・蔡娟（兼任）講師就任により、「実践中国語I」「実践中国語II」「上級中国語」を追加。・戸田里和（兼任）講師、退職により削除。・新倉慎右（兼任）講師、退職により削除。・倉八順子（兼任）講師就任により、「日本語a-I」、「日本語a-II」、「日本語b-I」、「日本語b-II」を追加。・矢野明宏（兼任）講師就任により、「加齢と高齢者の科学」を追加。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
6 名	3 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
4	1	1	3	9	0	5	0	1	3	9	0
(5)	(0)	(1)	(3)	(9)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
5	0	1	3	9	0	5	0	1	3	9	0
[1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{9}{9} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{9} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合計（D）					後任補充状況の集計（E）		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし					
合計（F）					後任補充状況の集計（G）		
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）		
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{9} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計					後任補充状況の集計		
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (平成31年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	該当なし		

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<国際学部 国際学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況
平成30年度からは、全体協議会を廃して新設した「大学評議会」にて、FDの計画と実施及び自己点検を、引き続き担当している。 ※別添「和洋女子大学大学評議会規程」

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
大学評議会は、学長が議長となり、月2回開催することになっている。構成員は、学長・副学長・学部長等・部門長等・事務局長である。なお、会議で決議された事項を速やかに実施するために、事務局部長等(5名)が陪席している。令和元年度は合計22回開催され、全員が出席している。

c 委員会の審議事項等
審議事項は、大学の運営に関わる事項についてである。特に次の事項については、担当制とし、責任をもって行うこととしている。①大学認証評価、②目標と計画(2年計画)、③授業評価アンケート、④学生生活アンケート、⑤FD企画立案、⑥教員実践点検シート、⑦教学マネジメント評価委員会

② 実施状況

全学FDの開催状況

第1回目：平成31年4月1日 内容：新任教員に対する本学の教育理念ほかについて
講師：学長 出席者：13名（出席率100%）

第2回目：令和元年6月25日 内容：「ハラスメント防止研修講演」
講師：株式会社フォーブレーション シニアコンサルタント 出席者：95名（出席率73.6%）

第3回目：令和元年10月15日 内容：「私立大学をめぐる諸情勢について－大学改革の諸側面－」
講師：文部科学省高等教育局 私学部私学行政課長 出席者：108名（出席率82.4%）

国際学部国際学科FDの開催状況

人文学部FD：令和2年1月21日 内容：「人文学部と国際学部における教育の質保証」
講師：人文学部長 出席者：45名（出席率95.7%）

国際学科FD：令和元年10月15日「新学部学科の展開について」
講師：国際学科長 出席者：15名（出席率100%）

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期
前期・後期に各1回実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等
結果を各授業担当者に公開するとともに、評価結果を分析・各教員の所感等をまとめた報告書を作成し、学内ネットワークを通じて教職員に対して開示している。また、所感を除いた報告書は大学ホームページで公開している。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項 「該当なし」

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。
併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

国際学部は、経済社会だけでなく文化生活も世界中の国々との交流の上に成り立っているグローバル化時代において、英語をはじめとする外国語を使い、相手の文化を知りそれを受容しながら自らの社会や文化を伝えることができ、大きく動く経済社会において常に自身の立ち位置を確認し、多様な文化を持つ人々と協働しながら、新しい価値やモノを創造することのできる人材を育成することを目的として2020年4月に設置された。

2020年度の学生募集活動では、オープンキャンパスや高校訪問、HP・マスメディア・SNSなどのメディアを通して国際学部の教育課程の特色について積極的に広報を行い、志願者891名（英語コミュニケーション学科404名、国際学科497名）、入学者133名（英語コミュニケーション学科65名、国際学科68名）となった。これは国際学部設置にあたって「学生の確保の見通し」の確認のために行った高校生に対するアンケート調査の結果を大幅に上回るものであり、進学先として国際学部が幅広く多くの受験生に選ばれていることが確認された。

そして入学が確定した受験生に対しては、全学レベル及び学部・学科単位で2回（2019年12月1日、2020年2月15日）にわたり、大学・学部・学科の学びについて理解を深め教員との交流を図ることを目的とする「プレわよらカフェ」というイベントを大学のキャンパスで行い、1月14日から3月31日までの間に国語や社会に関するeラーニングを中心とした「入学前学習プログラム（わようドリル）」を実施した。これらの活動は大学教育へのスムーズな接続と学部・学科への帰属意識の強化を意図したものであり、一定の効果が得られたものとする。

4月1日からの新学期については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により遠隔授業を中心とした教育形式がとられることとなった。国際学部では大学が導入している「manaba course」というICTシステムの利用を中心に据え1年次の入門教育課程が滞りなく展開できるよう準備を整えている。このような体制のもと5月18日からの授業が順調に展開できるものと確信する。

教員組織に関しては学部運営や開講科目に必要な員数と職位構成の要件を十分に満たしており（教授8名、准教授3名、講師1名、助教5名）、きめ細やかな学生指導ができる体制を整えていると考える。

今後は面接授業に向けいつでも遠隔授業からの移行がスムーズにできるよう準備を進めるとともに、全体的に設置計画に基づく、学年進行に対応した教育課程の展開が着実に行われるよう工夫を重ねていきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成27年4月 公表

b 公表方法

・点検・評価報告書を刊行し、大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

平成26年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）による評価の結果、適合と認定された。

認定の期間は2022年3月までであり、2021年度に次回の認証評価を受審する予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

○和洋女子大学大学評議会規程

（設置）

第1条 和洋女子大学学則第8条の規定に基づき、本学に大学評議会（以下「本会」という。）を置く。

（目的）

第2条 本会は、大学の充実と運営の効率化を図るため、大学運営等に関する重要な以下の事項について、審議を行うとともに、必要な連絡調整を行うことを目的とする。

（1）大学の将来構想及び中期計画・目標の企画立案に関する事項

（2）教員人事に関する事項（採用に伴う手続きは別に定める）

（3）自己点検及び評価の企画・実施に関する事項

（4）FD（ファカルティ・ディベロップメント）に関する事項

（5）学長が必要と認めた事項

2 本会は、審議した事項について、必要に応じて教授会に報告しなければならない。教授会は、特に必要がある場合には、本会が審議した事項について、改めて審議し、本会に意見を述べることができる。

（構成員）

第3条 本会は、学長、副学長、学部長、部門長、図書館長、事務局長をもって構成する。

2 本会が必要と認めたときは、前項の規定に関わらず、その他の教職員の出席を求め、意見を聴くことができる。

（会議）

第4条 本会は、原則として定期開催する。ほかに、学長が必要と認めたとき、又は構成員の2分の1以上の要求があったときは、学長がこれを招集する。

2 本会は大学院評議会と合同で開催することができる。

（議長）

第5条 本会の議長は、学長がこれに当たる。

2 学長に支障があるときは、学長があらかじめ指名する者がこれを代行する。

（成立要件）

第6条 本会は、委任状を含めて構成員（国内研修派遣者、海外研修派遣者、退職者、育児休業者及び介護休業者を除く。）の3分の2以上の出席をもって成立する。

（議決）

第7条 本会の議決ならびに教授会の審議結果を参酌し、学長は事項に関する方針を決定する。

（議事の公開）

第8条 本会の議事は、非公開とする。

（庶務）

第9条 本会の庶務については、学事課が担当する。

（規程の改廃）

第10条 この規程の改廃は、和洋学園諸規程の管理規程の定めによる。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から制定施行する。

本規程の制定により、和洋女子大学大学運営会議規程（平成27年4月1日制定施行）、全体協議会規程（平成10年3月17日制定施行）及び全体協議会運営規程（平成10年3月17日制定）については、平成30年3月31日をもって廃止する。